

ポータブルミニディスク レコーダー

取扱説明書/Operating Instructions

お買い上げいただきありがとうございます。



電気製品は安全のための注意事項を守らないと、
火災や人身事故になることがあります。

この取扱説明書には、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の
取り扱いかたを示しています。この取扱説明書をよくお読みのうえ、
製品を安全にお使いください。

お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管して
ください。



MZ-R5ST

主な特長

本機は、ソニーが開発したミニディスクフォーマットを採用したポータブルミニディスクレコーダーです。

- **ステーションシステム**
本機は、ポータブルMDレコーダーとワンタッチで脱着が可能なステーションがセットになっています。デジタル録音やタイトル編集などは本体をステーションにセットして、再生やマイク録音は本体のみでと、目的に応じて使い分けすることができます。
- **光デジタル入/出力端子装備**
音声をデジタル信号のままやり取りするので、ノイズやひずみの少ない高音質の編集が行なえます。
- **サンプリングレートコンバーター内蔵ステーションにBSチューナーやDATなどのデジタル機器をつないで、デジタル信号のまま録音・編集することができます。**
- **さまざまな場面に対応した録音機能**
 - 最大148分の長時間録音ができる、モノラル録音。
 - ラジオなどからの録音時、録音スタートのタイミングのズレをカバーする、タイムマシン録音。
 - お手持ちのタイマーにつなげば留守中に録音ができる、タイマー録音。
- **大型表示パネルと編集用ボタンで快適編集**
 - カナ文字対応。
 - タイトル用に文例集を用意。
 - 編集作業の取り消しができる、UNDO (アンドゥ) 機能。

- **プログラム再生**
好きな曲を好きな順で聞くことができます。
- **カードリモコン付属**
離れた場所からステーションを操作。ダイレクト選曲もできます。
- **アクティブスピーカー専用出力端子装備**
別売りのアクティブスピーカーSRS-Z1000などをつないで、デスクトップでMD再生を楽しめます。

ご注意

- 録り直しのきかない録音の場合は、必ず事前にためし録りをしてください。
- ポータブルミニディスクレコーダーの不具合により録音されなかった場合の録音内容の補償についてはご容赦ください。

MD WALKMANは、ソニー株式会社の商標です。

👁️ は知っている则便利な情報のマークです。

あなたが録音したものは、個人として楽しむなどのほかは、著作権法上、権利者に無断で使用できません。なお、この商品の価格には、著作権法の定めにより、私的録音補償金が含まれております。(お問い合わせ先 (社)私的録音補償金管理協会 Tel.03-5353-0336)

警告 安全のために

ソニー製品は安全に十分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。



安全のための注意事項を守る

6～9ページの注意事項をよくお読みください。製品全般の注意事項が記載されています。

定期的に点検する

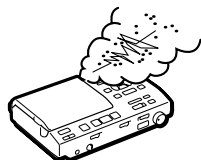
1年に1度は、電源コードに傷みがないか、コンセントと電源プラグの間にほこりがたまっていないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、キャビネットやACパワーアダプターなどが破損しているのに気づいたら、すぐにお買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、
煙が出たら



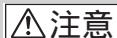
- 1 電源を切る
- 2 電源プラグをコンセントから抜く
- 3 お買い上げ店またはソニーサービス窓口にご依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。



この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。



この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



火災



感電

行為を禁止する記号



禁止



分解禁止



接触禁止

行為を指示する記号



プラグをコンセントから抜く

目次

⚠ 警告・⚠ 注意	6
-----------------	---

ここだけ読んで
も使えます

接続する	10
-------------------	-----------

録音する (デジタル録音)	12
----------------------------	-----------

再生する	14
-------------------	-----------

いろいろな
録音のしかた

再生側に合わせて録音を始める・止める (シンクロ録音)	16
2秒前の音から録音する(タイムマシン録音)	17
長時間録音する(モノラル録音)	18
マイクで録音する	19
アナログ入力から録音する(アナログ録音)	20
残りの時間や録音位置を調べる	21
録音日時を記録する(時計合わせ)	22

いろいろな
再生のしかた

ステーションで再生する	24
アクティブスピーカーで再生する	24
聞きたい曲を選ぶ(ダイレクト選曲)	24
好きな曲を好きな順に聞く(プログラム再生)	25
くりかえし聞く(リピート再生)	26
低音を強調する(DIGITAL MEGA BASS)	26
音もれを抑える(音量リミット-AVLS)	27
残り時間や再生位置を調べる	27

録音した
ミニディスクを
編集する

編集する前に	29
曲を消す(ERASE)	29
1曲を消す	29
全曲を消す	29
頭出しマーク(曲番)をつける (TRACK MARK ON)	30

録音した
ミニディスクを
編集する

頭出しマーク(曲番)を消す (TRACK MARK OFF).....	31
曲順を変える(MOVE).....	32
曲名やディスク名をつける(TITLE).....	32
最後に行なった編集操作を取り消す(UNDO).....	34

便利な機能

誤操作を防ぐ(ホールド機能).....	35
タイマー録音・再生する.....	35

接続と電源

録音の接続—CDプレーヤーなどにつなぐ.....	37
デジタル録音のための接続.....	37
アナログ録音のための接続.....	37
再生の接続	
—アンプやアクティブスピーカーなどにつなぐ.....	38
デジタル機器への接続.....	38
アナログ機器への接続.....	38
電源について.....	39
家庭用電源(コンセント)で使う.....	39
リチウムイオン電池を充電する.....	39
乾電池/ニッケル水素電池で使う.....	41
各電池の持続時間.....	41

その他

使用上のご注意.....	42
故障かな?と思ったら.....	43
システム上の制約による症状と原因.....	46
エラー表示一覧.....	47
保証書とアフターサービス.....	49
主な仕様.....	50
解説.....	52
各部のなまえ.....	54

Operating
Instructions

Operating Instructions.....	62
-----------------------------	----



下記の注意事項を守らないと**火災・感電**により**大けが**の原因となります。

運転中は使用しない

- ・自動車、オートバイなどの運転をしながらヘッドホンやイヤホンなどを使用したり、細かい操作をしたり、表示画面を見ることは絶対におやめください。交通事故の原因となります。
- ・また、歩きながら使用するときも、事故を防ぐため、周囲の交通や路面状況に十分にご注意ください。



禁止

内部に水や異物を入れない

水や異物が入ると火災や感電の原因になります。万一、水や異物が入ったときは、すぐに本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜き、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。



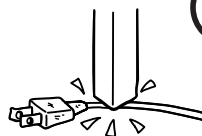
禁止

電源コードを傷つけない

電源コードを傷つけると、火災や感電の原因となります。

- ・電源コードを加工したり、傷つけたりしない。
- ・重いものをのせたり、引っ張ったりしない。
- ・熱器具に近づけない。加熱しない。
- ・電源コードを抜くときは、必ずプラグを持って抜く。

万一、電源コードが傷んだら、お買い上げ店またはソニーのサービス窓口で交換をご依頼ください。

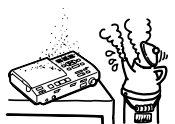


禁止

湿気やほこり、油煙、湯気の多い場所や

直射日光のあたる場所には置かない

火災や感電の原因になることがあります。とくに風呂場では絶対に使用しないでください。



禁止

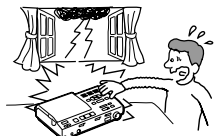
海外で使用しない

交流100Vの電源でお使いください。海外などで、異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。



接触禁止



下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり周辺の**家財に損害**を与えたりすることがあります。

内部を開けない

感電の原因となることがあります。
内部の点検や修理はお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご依頼ください。



ぬれた手で電源プラグをさわらない

感電の原因となることがあります。



移動させるとき、長時間使わないときは、

電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだまま移動させると、コードが傷つき、火災や感電の原因となることがあります。
旅行などで長期間ご使用にならないときは、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。差し込んだままにしていると火災の原因になります。



お手入れの際、電源プラグを抜く

電源プラグを差し込んだままお手入れをすると、感電の原因となることがあります。



安定した場所に置く

ぐらついた台の上や傾いたところなどに置くと、製品が落ちてけがの原因となることがあります。また、置き場所、取り付け場所の強度もじゅうぶんに確認してください。



はじめからボリュームを上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。ボリュームは徐々に上げましょう。とくに、ヘッドホンで聞くとときにはご注意ください。



注意

つづき

通電中のACパワーアダプターや製品に長時間ふれぬ

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。

ステーションやACパワーアダプターを布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



禁止

大音量で長時間続けて聞きすぎない

耳を刺激するような大きな音量で長時間つづけて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。とくにヘッドホンで聞くときにご注意ください。呼びかけられて返事ができるくらいの音量で聞きましょう。



禁止

光デジタル入出力端子の保護キャップは幼児の手の届かない場所に置く
飲み込んで、窒息やけがなどの原因となることがあります。



禁止

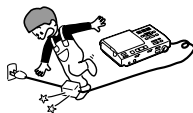
ステーションの接続用接点部に触れない

接点部を無理に開けようとするなど、不用意に触っていると、指をけがすることがあります。



接触禁止

ACパワーアダプターのコードは正しく配置する
足に引っかけると製品の落下や転倒などによりけがの原因となることがあるため、充分注意して接続・配置してください。



禁止

指定以外のACパワーアダプターを使わない

過熱などにより、火災やけがの原因となります。



禁止

電池についての安全上のご注意

漏液、発熱、発火、破裂、誤飲などを避けるため、下記のことを必ずお守りください。

電池の種類については、電池本体上の表示をご確認ください。種類によっては該当しない注意事項もあります。

充電式電池
ニカド

(Ni-Cd)

ニッケル水素

(Ni-MH)

リチウムイオン

(Li-ion)

乾電池

アルカリ

マンガン

ボタン型電池

リチウムなど

危険 (この項目は充電式電池のみ適用となります)

- 指定された充電器以外で充電しない。
- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。コインやヘヤーピンなどの金属類と一緒に携帯、保管するとショートすることがあります。
- リチウムイオン電池は火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない。
- 充電式電池に貼ってあるビニールをはがしたり、傷つけない。

警告

- ボタン型電池は幼児の手の届かないところに置く。万一飲み込んだ場合は、ただちに医師に相談してください。
- 火の中に入れてない。ショートさせたり、分解、加熱しない。
- 乾電池は充電しない。
- 指定された種類の電池を使用する。

注意

- + と - の向きを正しく入れる。
- 電池を使い切ったとき、長時間使用しないときは、取り出しておく。
- 新しい電池と使用した電池、種類の違う電池を混ぜて使わない。

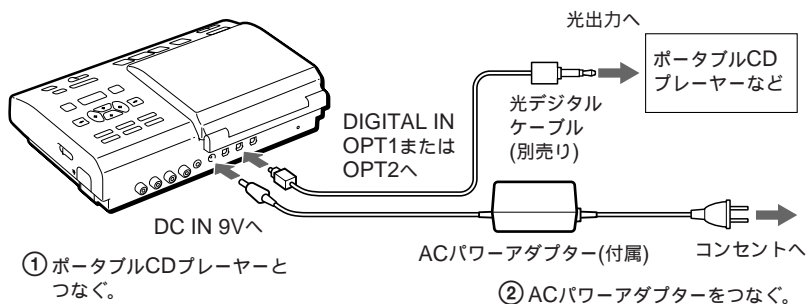
もし電池の液が漏れたときは、電池入れの液をよくふきとってから、新しい電池を入れてください。万一、液が体についたときは、水でよく洗い流してください。

お願い

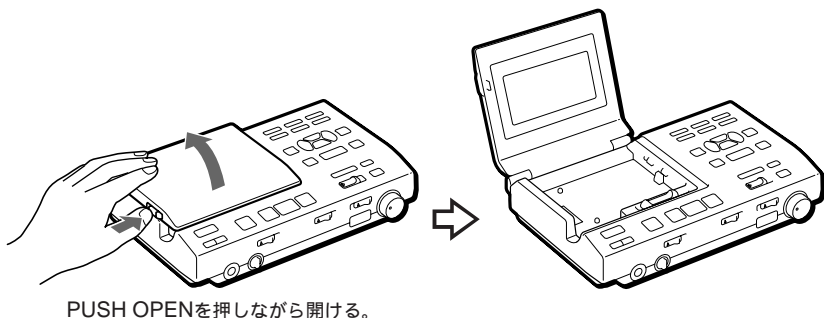
使用済みニカド電池は貴重な資源です。端子(金属部分)にテープを貼るなどの処理をして、ニカド電池リサイクル協力店にご持参ください。

ステーションに他の機器を接続してから、ACパワーアダプターをつなぎます。
ここでは、ポータブルCDプレーヤーなどからデジタル入力で録音する場合の接続について説明します。その他の接続については、「接続と電源」(37ページ)をご覧ください。

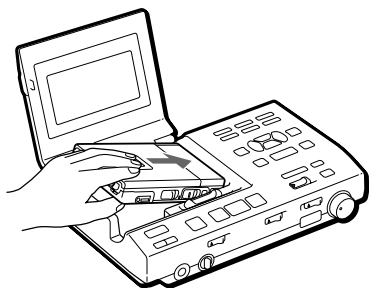
1 つなぐ



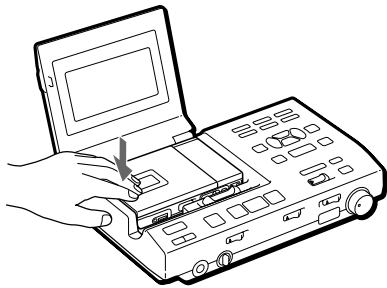
2 ふたを開ける



3 本体をステーションに取り付ける



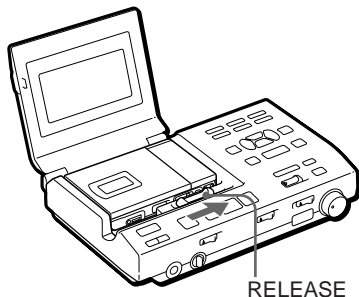
① 右側を合わせてから



② 左側をぐっと押し下げる。

取り付けられるとステーションの表示パネルがつきます。

はずすには



停止中にRELEASEスイッチを右いっぱいにはずします。

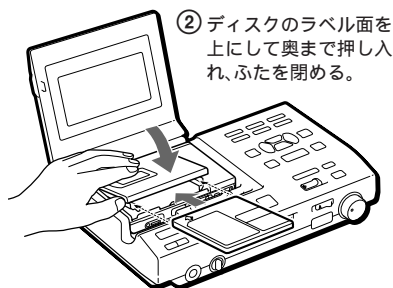
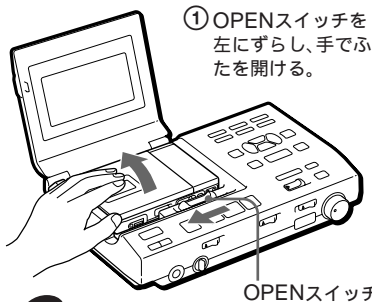
ご注意

- 録音日時を記録するために時計合わせをしてください (22ページ)。
- ポータブルCDプレーヤーから録音するとき
 - ポータブルCDプレーヤーにACパワーアダプターをつなぎ、家庭用電源でお使いください。
 - 音飛びガード機能 (ESPなど) は「切」にしてください。
- 本体の底面やステーションの本体取り付け部には、シールなどを貼らないでください。故障の原因となることがあります。

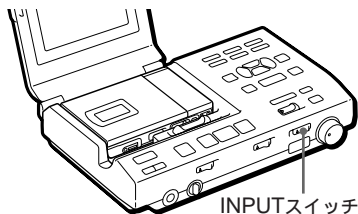
録音する (デジタル録音)

ここではデジタル接続で録音する方法を説明します。まず接続してください (10ページ)。アナログ接続で録音する場合は、37ページと20ページを、マイクで録音する場合は19ページをご覧ください。

1 録音用ミニディスクを入れる



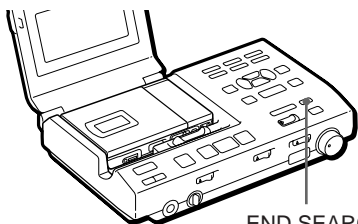
2 録音する機器を選ぶ



INPUTスイッチを、録音する機器をつないだ端子に合わせる。

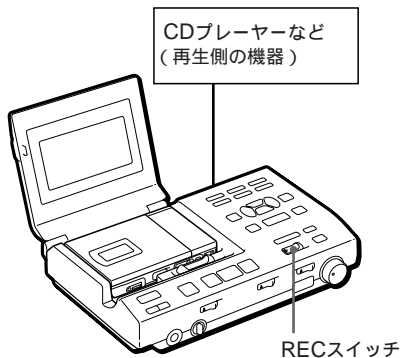
つないだ端子	スイッチの位置
DIGITAL IN OPT 1	OPT 1
DIGITAL IN OPT 2	OPT 2

3 録音開始位置を選ぶ



録音済みの部分の後ろに新しい録音をするときは、END SEARCHボタンを押す。
(ディスクの最初から録音を始めるときはこの手順は不要です。)

4 録音する



① RECスイッチを右にずらす。
「REC」表示が点灯し、録音が始まります。

② 録音したいCDやテープを再生する。

止めるには、ボタンを押す。

ご注意

「TOC EDIT」表示の点滅中は、録音した情報(曲の開始、終了位置など)をディスクに記憶しています。衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。

こんなときは	操作
一時停止する	を押す。 ¹⁾ もう一度押すと解除されます。
録音した内容の途中から新しく録音する ²⁾	▶、▶▶ または ◀◀ を押して録音を始めたい位置で ◀ を押す。次にRECスイッチを右にずらす。
ディスクを取り出す	■ を押してからOPENスイッチをずらしてふたを開ける。 ³⁾
電源を切る	POWERスイッチを押す。

¹⁾ 一時停止したところで曲番が1つ増え、そこから次の曲として記録されます。

²⁾ 録音した内容の途中から新しく録音すると、すでに録音してあった部分は、新しい録音によって上書き(消去)されます。

³⁾ ふたを開けると、次の録音はディスクの最初から始まります。

録音が始められないときは

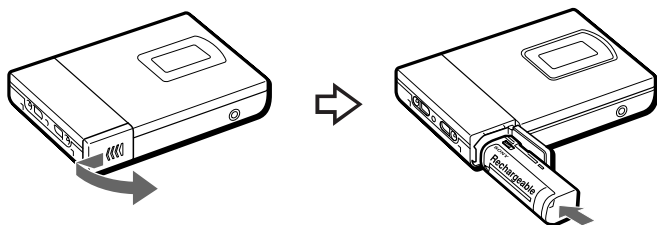
- ディスクの誤消去防止つまみが開いていませんか(53ページ)。
- 「SCMS NO COPY」が表示されていると、デジタル録音はできません(53ページ)。
- 再生専用のミニディスクは録音できません。



- 録音中に音を聞くことができます。ステーションの◊HEADPHONESジャックまたは本体の◊/REMOTEジャックに、ヘッドホンをつないでください。ただし、ステーションにつなぐときと比べて、本体につなぐと音質は下がりますので、録音されているかのチェック程度にお使いください。
- 停止中に5分間何も操作しないと自動的に電源が切れます。再び電源を入れるときはPOWERスイッチや▶ボタンを押してください。

ここでは主にステーションからはずした本体のみの再生方法を説明します。付属の充電式リチウムイオン電池はあらかじめ充電しておいてください。充電のしかたや、他の電源については「電源について」(39ページ)をご覧ください。

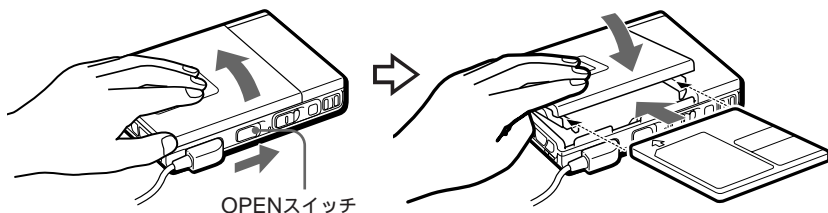
1 充電した充電式電池を入れる



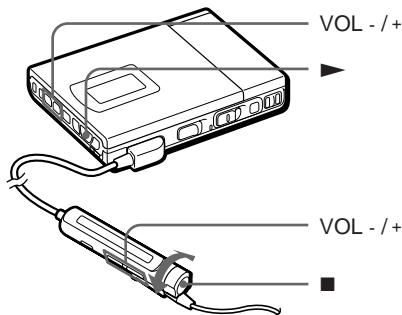
2 ミニディスクを入れる

① OPENスイッチを右にずらし、手でふたを開ける。

② ディスクのラベル面を上にして奥まで押し入れ、ふたを閉める。



3 聞く



- ① ▶を押す(リモコンでは回転つまみを▶・▶▶側に回す)。リモコンで操作すると「ピ」と確認音がします。
 - ② VOL -/+を押して音量を調節する。表示窓で音量を確認できます。
- 止めるには、■を押す。
リモコンで操作すると「ピー」と確認音がします。

こんなときは	操作(リモコンの確認音)
一時停止する	⏸を押す(ピ・ピ・ピ) もう一度押すと解除されます。
今聞いている曲を頭出しする	⏮を短く押す リモコンでは回転つまみを⏮側に回す(ピピピ)
次の曲を頭出しする	⏭を短く押す リモコンでは回転つまみを▶・▶▶側に回す(ピピ)
再生しながら早戻りする ¹⁾	⏮を押したままにする リモコンでは回転つまみを⏮側に回したままにする
再生しながら早送りする ¹⁾	⏭を押したままにする リモコンでは回転つまみを▶・▶▶側に回したままにする

ディスクを取り出す を押して、OPENスイッチをずらしてふたを開ける²⁾

¹⁾ 一時停止(⏸)して⏮または⏭を押し続けると、再生音を聞かずに高速で早送りや早戻しができます。

²⁾ ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります。

再生が始められないときは
ホールド(誤操作防止状態)になっていません
か(35ページ)。



ステレオ/モノラルは自動的に切り換わり
ます。

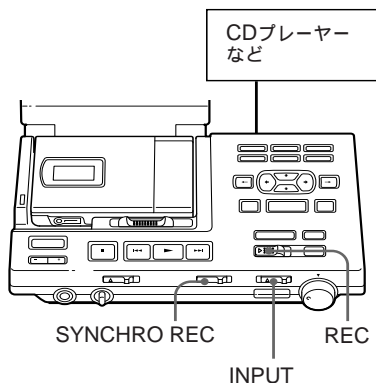
ステーションにとりつけたままでも再生で
きます
「ステーションで再生する」(24ページ)をご
覧ください。

別売りのヘッドホンを使う場合は
ステレオミニプラグのものをお使いくだ
さい。アラカルトヘッドホン(マイクロプラグ)
は使えません。

再生側に合わせて録音 を始める / 止める

(シンクロ録音)

CDプレーヤーなどのデジタル機器からデジタル入力で本機へ録音するときに、録音もとと本機のそれぞれを操作する手間を省き、簡単に録音できます。

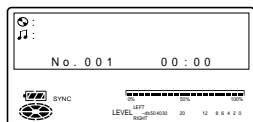


1 INPUTスイッチを「OPT1」または「OPT2」にする。

つないだ端子に合わせてください。

2 SYNCHRO RECスイッチを「ON」にする。

「SYNC」が表示されます。



3 RECスイッチを右にずらし、録音を始める。

録音一時停止になります。

4 録音もとの機器の再生を始める。
音が出ると自動的に本機で録音が始まります。

録音をやめるには
本機の■ボタンを押します。



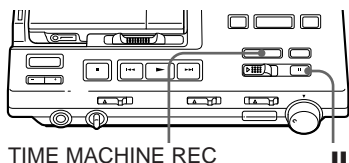
- シンクロ録音中は、手動で一時停止することはできません。
- シンクロ録音中に録音もとで3秒以上の無音が続くと、本機は自動的に録音一時停止になります。再び音を検知すると、シンクロ録音に戻ります。録音一時停止状態が5分以上続くと、自動的に録音が止まります。

ご注意

- 手順2の後では、SYNCHRO RECスイッチを切り換えないでください。正しく録音されないことがあります。
- モノラル録音するときは、「長時間録音する」(18ページ)の手順1と2を行なってからシンクロ録音を行ってください。

2秒前の音から録音する(タイムマシン録音)

入力されている音を本機のメモリーに蓄えておき、録音を始めると同時に2秒前の音からメモリーを取り出して録音していきます。衛星放送やFM放送などのエアチェックで、録音を始めるタイミングが遅れて頭の部分を録音し損なうのを防ぐのに便利です。



- 録音したいところでTIME MACHINE RECボタンを押す。押したところから2秒前にさかのぼって録音を始めます。

録音をやめるには
■ボタンを押します。

ご注意

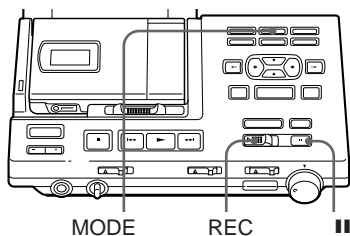
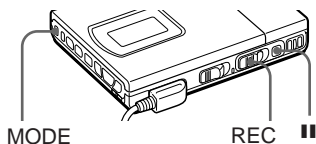
手順2と3の間が2秒未満の場合は、さかのぼって録音される部分も2秒未満になります。

- || ボタンを押しながらRECスイッチを右にずらす。
録音一時停止になります。
- 録音もとの機器の再生を始める。
本機のメモリーに入力された音を蓄え始めます。
- アナログ入力から録音するとき
は、録音レベルを調節する(20ページの手順6)。

長時間録音する

(モノラル録音)

一枚のディスクに通常の録音の倍の時間録音ができます。ただし音の臨場感は損なわれますので、目的に応じて選んでください。本体のみでも、ステーションに取りつけた状態でも操作できます。



1 ||ボタンを押しながらRECスイッチを右にずらす。
録音一時停止になります。

2 MODEボタンを押し、モノラル録音にする。
表示窓に「MONO」、「Monaural REC」が表示されます。

3 ステーションでアナログ入力から録音するときは、録音レベルを調節する。
録音したい音を出して、20ページの手順6の操作をします。

4 ||ボタンを押して録音を始める。

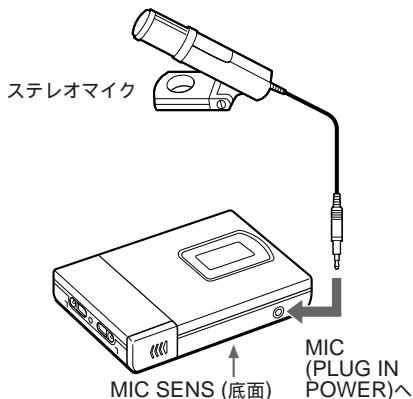
5 録音する音を出す。



- 長時間の録音はステーションに取りつけて行なうことをおすすめします。
- ■ボタンを押して録音を止めると、次の録音からはステレオ録音に戻ります。
- ステレオで送られる音をモノラルで録音すると、左右のチャンネルの音がミックスして録音されます。
- デジタル接続で録音時は、シンクロ録音を「OFF」にしてから操作を始めてください。「ON」になっているとモノラル録音できません。
- 本機でモノラル録音した内容は、他のモノラル再生に対応していない機器では再生できません。

マイクで録音する

本体に別売りのステレオマイクECM-717、ECM-MS907、ECM-MS957などをつないで録音します。本体はマイクとつながないと録音できません。録音レベルは最適な値になるように自動的に調整されますが、必要に応じて手で調整できます。



1 MIC SENSを切り換える。
通常は「HIGH」側に合わせます。ライブ録音など大音量を録音するときは、「LOW」側に合わせてください。

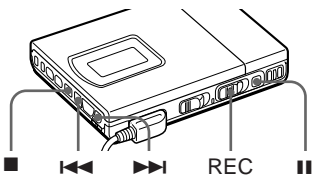
2 録音用ミニディスクを入れ、録音を始める。

RECスイッチの中央のボタンを押しながら右にずらします。その他の操作は「録音する」(10ページ)をご覧ください。ステーションと同じ名称のボタンは、同じはたらきをします。

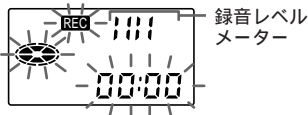
ご注意

ステーションに取り付けているときは、マイク録音できません。

録音レベルを手動で調節するには

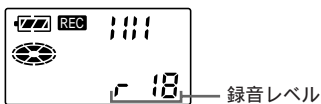


1 ■ボタンを押しながら、2秒間RECスイッチを右にずらしたままにする。



2 録音したい音を出す。

3 表示窓を見ながら▶▶(+)<<▶▶(-)ボタンで録音レベルを調節する。
平均的な音の大きさのときにパー表示が4本ぐらいに合わせます。



4 ■ボタンを押して録音を始める。



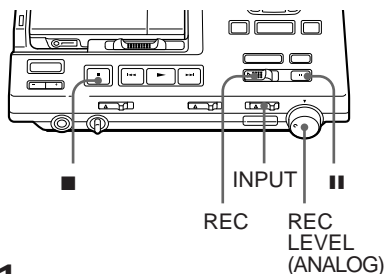
- ボタンを押して録音を止めると、次の録音からは自動レベル調節に戻ります。
- 必要に応じてMIC SENSを切り換えてください。

ご注意

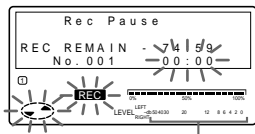
録音を始めると録音レベルは調節できなくなります。必ず手順4の前に行なってください。

アナログ入力から録音する(アナログ録音)

ラジオやレコードなどから録音するときには、アナログ接続をしてから(37ページ)、以下の手順で録音します。このとき、必ず録音レベルを調節してください。



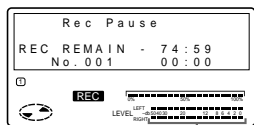
- 1 録音用ミニディスクを入れる。
- 2 INPUTスイッチを「ANALOG」にする。
- 3 録音開始位置を選ぶ。
録音済み部分の後ろに録音するときには、END SEARCHボタンを押します。
- 4 ■ボタンを押しながらRECスイッチを右にずらす。
録音一時停止になります。



録音レベルメーター

- 5 録音したい音を出す。

- 6 表示窓を見ながらREC LEVELつまみで録音レベルを調節する。
平均的な音の大きさのときに12(-dB)くらいになるように合わせます。



音量小 | 音量大
レベル表示

- 7 ■ボタンを押して録音を始める。

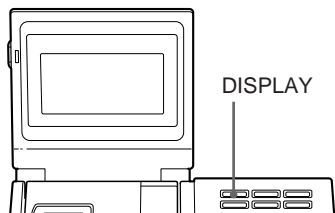
ご注意

録音中であっても、REC LEVELつまみを回すと録音レベルは変わりますのでご注意ください。

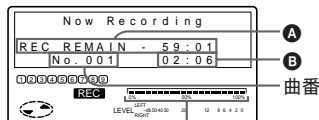
残り時間や録音位置を調べる

ステーションの表示パネルや本体の表示窓、リモコンの表示窓で残り時間などの情報を確認できます。

ステーションの表示パネルで調べる



- 1 DISPLAYボタンを押す。
押すたびに、次のように変わります。



ポジションポインター
(現在の録音位置)

録音中

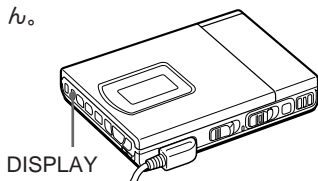
A	B
録音できる残り時間	経過時間
現在時刻と年月日*	経過時間
*時計が合わせてあるときのみ	

停止中

A	B
-	経過時間
録音できる残り時間	経過時間
ディスク内の曲の残り時間	表示中の曲の残り時間
現在時刻と年月日*	経過時間
*時計が合わせてあるときのみ	

本体の表示窓で調べる

ステーションに取り付けられているときは本体の表示窓には何も表示されません。



- 1 DISPLAYボタンを押す。
押すたびに、次のように変わります。



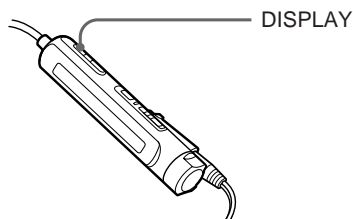
録音中

A	B
曲番	経過時間
-	録音できる残り時間
現在の年*	月日*
-	現在時刻*
*時計が合わせてあるときのみ	

停止中

A	B
曲番	経過時間
-	現在の位置から録音できる残り時間
残り曲数	再生できる残り時間
現在の年*	月日*
-	現在時刻*
*時計が合わせてあるときのみ	

リモコンの表示窓で調べる



1 DISPLAYボタンを押す。

押すたびに、次のように変わります。ただし、ステーションに本体を取りつけているときはボタンを押しても曲番と経過時間の表示のままです。



録音中

A	B
曲番	経過時間
曲番	録音できる残り時間
-	現在月日*
-	現在時刻*

*時計が合わせてあるときのみ

停止中

A	B
曲番	経過時間
曲番	曲名*
全曲数	ディスク名*
-	現在月日**
-	現在時刻**

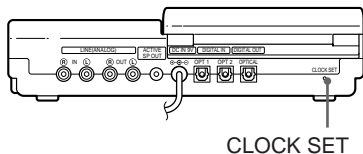
*文字情報が記録されているときのみ。

**時計が合わせてあるときのみ。

録音日時を記録する

(時計合わせ)

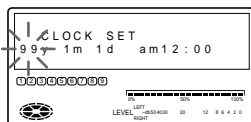
時計を合わせておくと、録音の際に録音日時が記録されます。本体のみでも、ステーションに取りつけた状態でも、時計合わせできます。



1 CLOCK SETボタンを押す。

シャープペンの先など細いもので押してください。年の数字が点滅します。

ステーション表示窓



2 カーソル↑または↓ボタンを押して年を合わせる。

ボタンを押し続けると早く進みます。

3 カーソル→ボタンを押して確定する。

月の数字が点滅します。

4 手順2、3をくりかえして月、日、時、分を合わせる。

分を合わせてTITLE/ENTERボタンを押すと、時計が0秒からスタートします。

途中で間違えたときは

■ ボタンを押し、もう一度はじめからやり直してください。変更する必要のない数字はカーソル→ボタンを押し、先に進めてください。

本体で時計を合わせるには

ステーションでの合わせ方と同じ手順で操作します。本体底面のCLOCK SETボタンを押し、年の数字を点滅させます。

◀◀または▶▶ボタンで数字を変え、

▶ボタンで確定します。分まで合わせたら▶ボタンを押し、時計をスタートさせます。

本体で時計を合わせてステーションに取り付けると、ステーションも自動的に時計合わせされます。

時計を24時間表示に変えるには

時計合わせ中にDISPLAYボタンを押します。もう一度押すと12時間表示に戻ります。

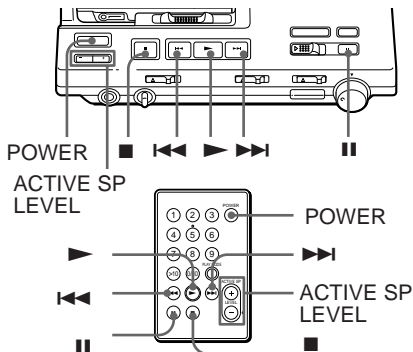
本体内蔵の時計用電源を充電してください

初めてお使いになるときや、長い間お使いにならなかったときは、本体内蔵の時計用充電電源を充電してください。ステーションに本体を取りつけて約2時間で充電されます。その後は、電源がつかないであれば、自動的に充電されるので、あらためて充電する必要はありません。電源がなくても、時計用電源は約1か月間持続します。

いろいろな再生のしかた

ステーションで再生する

本体をステーションに取りつけたとき(11ページ)は、次のボタンで再生します。



こんなときは	操作
再生する	▶▶を押す
ヘッドホンの音量を調節する	ステーションのLEVELつまみを回す
一時停止する	を押す もう一度押すと解除されます。
今聞いている曲を頭出しする	◀◀を短く押す
次の曲を頭出しする	▶▶を短く押す
再生しながら早戻しする*	◀◀を押し続ける
再生しながら早送りする*	▶▶を押し続ける
ディスクを取り出す	を押してからステーションのOPENスイッチを左にずらしてふたを開ける**
電源を切る	POWERスイッチを押す

* 一時停止(||)して◀◀または▶▶を押し続けると、再生音を聞かずに高速で早送りや早戻しができます。

** ふたを開けると、次の再生はディスクの最初から始まります

ご注意

停止中に5分間何も操作しないと自動的に電源が切れます。再び電源を入れるときはPOWERスイッチや▶▶ボタンを押してください。

アクティブスピーカーで再生する

別売りのアクティブスピーカーSRS-Z1000などをステーションに接続して(38ページ)、MDを聞くことができます。

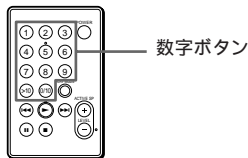
ステーションまたはカードリモコンのボタンで操作します。

音量を調節するにはステーションまたはカードリモコンのACTIVE SP LEVEL -/+ ボタンを押します。

聞きたい曲を選ぶ

(ダイレクト選曲)

カードリモコンの数字ボタンで聞きたい曲の演奏がすぐに始められます。



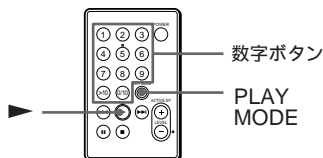
1 聞きたい曲番の数字ボタンを押す。
選んだ曲が再生されます。



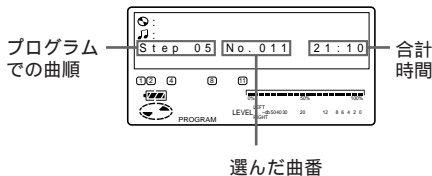
- 10曲目を選ぶには、0/10ボタンを押します。
- 11曲目以降を選ぶには、>10ボタンを押したあと、10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。1の位の数が0のときは0/10ボタンを押します。
- 100曲目以降を選ぶには、>10ボタンを2回押したあと、100の位の数、10の位の数、1の位の数という順に数字ボタンを押します。

好きな曲を好きな順に 聞く(プログラム再生)

聞きたい曲を好きな順に20曲までプログラムすることができます。



- 1 PLAY MODEボタンをくり返し押し、「PROGRAM」を表示させる。
- 2 聞きたい順に、曲番の数字ボタンを押していく。
選んだ曲が順番にプログラムされていきます。20曲までプログラムすることができます。



押し間違えたときは
ステーションのERASE/DELETEボタン
を押します。

- 3 ▶ボタンを押す。
プログラムした順に再生が始まります。

曲順を確認するには
再生前にステーションのSELECTボタン
を押します。押すたびに、プログラム
した順で曲番号が表示されます。

プログラムを変更するには
再生前に、ステーションのERASE/
DELETEボタンを押すと、最後の曲か
ら消えていきます。■ボタンを押すと、
プログラムすべてが消えます。そのあ
と、プログラムし直してください。

ステーションでもプログラムするこ
とができます

- 1 MODEボタンをくり返し押し
て、「PROGRAM」を表示させ
る。
- 2 カーソルボタンで曲番を選び、
SELECTボタンを押す。
- 3 手順2をくり返す。
- 4 ▶ボタンを押す。

ご注意

以下の操作を行なうとプログラムの内容は消
えます。

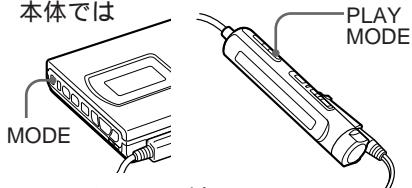
- ■ボタンを押す。
- ディスクを取り出す。
- 本体をステーションからはずす。
- 録音・編集などを行なう。

くりかえし聞く

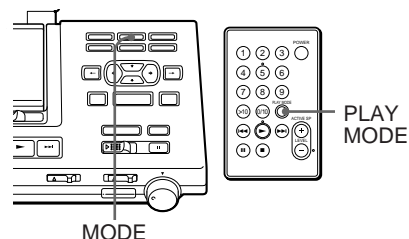
(リピート再生)

ディスク全曲のリピート、1曲のリピート、シャッフルリピートの3通りの方法があります。

本体では



ステーションでは



1 再生中にMODE(リモコンではPLAY MODE)ボタンをくり返し押し、希望の表示を出す。

リピートの種類	本体・リモコンの表示	ステーションの表示
ディスク全曲をくり返す	◀	REPEAT
再生中の曲をくり返す	◀ 1	REPEAT1
順不同にくり返す	◀ SHUF	REPEAT SHUFFLE

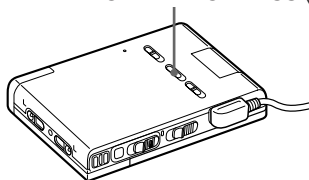
リピート再生をやめるにはMODE(リモコンではPLAY MODE)ボタンをくり返し押し、「REPEAT」, 「◀」を消します。

低音を強調する

デジタル メガ ベース
(DIGITAL MEGA BASS)

低音域が強調された迫力のある再生が楽しめます。この機能は、本体のみで使うときに働きます。

DIGITAL MEGA BASS (底面)



1 DIGITAL MEGA BASSスイッチを「1」または「2」に合わせる。
1(弱) 2(強)の2段階のデジタルメガベース効果が働きます。

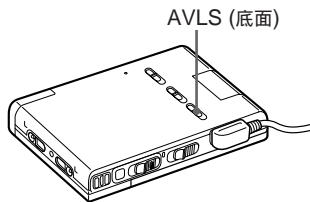
ご注意

- メガベースを使っているときに音量を上げすぎると、音が割れたり、はずんだりすることがあります。その場合は音量を下げてください。
- 録音中にメガベースを切り換えても、録音される音には影響はありません。

音もれを抑える

(音量リミット-AVLS)

音量の上げすぎによる音もれや、耳への圧迫感、周囲の音が聞こえないことへの危険を少なくし、より快適な音量で聞くことができます。この機能は、本体のみで使うときに働きます。

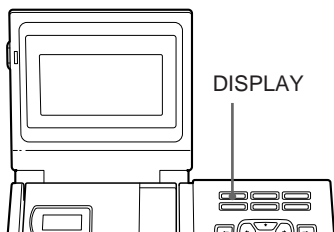


- 1 AVLSスイッチを「LIMIT」にする。
表示窓に「AVLS」が表示されます。音量が一定のレベル以上に上がらなくなります。

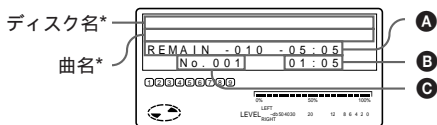
残り時間や再生位置を調べる

ステーションの表示パネルや本体の表示窓、リモコンの表示窓で曲名・ディスク名などの情報を確認できます。

ステーションの表示パネルで調べる



- 1 再生中にDISPLAYボタンを押す。
押すたびに、次のように変わります。



A	B	C
-	経過時間	曲番
残り曲数と残り時間	その曲の全残り時間	曲番
録音日時	時刻**	年月日**

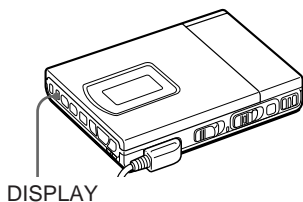
* 記録されているときのみ

** 録音日時が記録されているときのみ

いろいろな再生のしかた

本体の表示窓で調べる

ステーションに取り付けられているときは本体表示窓には何も表示されません。



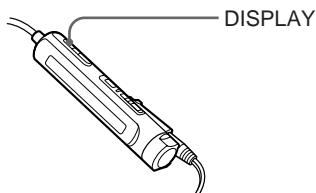
- 1 再生中にDISPLAYボタンを押す。
押すたびに、次のように変わります。



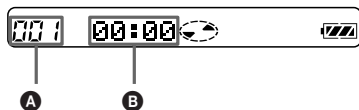
A	B
曲番	経過時間
曲番	その曲の残り時間
残り曲数	残り時間
録音した年*	月日*
-	録音した時刻*

* 録音日時が記録されているときのみ

リモコンの表示窓で調べる



- 1 再生中にDISPLAYボタンを押す。
押すたびに、次のように変わります。ただし、ステーションに本体を取りつけているときはボタンを押しても曲番と経過時間の表示のままです。



A	B
曲番	経過時間
曲番	曲名*
全曲数	ディスク名*
-	録音した月日**
-	録音した時刻**

* 記録されているときのみ

** 録音日時が記録されているときのみ

編集する前に

ミニディスクに頭出しマーク(曲番)をつけたり、曲名やディスク名をつけたりすることができます。ただし、再生専用ミニディスクの編集はできません。次の点にご注意ください。

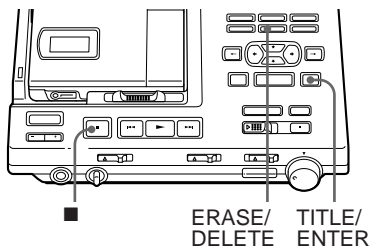
ご注意

- ・「TOC EDIT」表示の点滅中は、衝撃を与えたり電源を抜いたりしないでください。
- ・誤消去防止つまみが開いているディスクでは、編集することができません。つまみをもとに戻してください。

曲を消す^{イレース}(ERASE)

1曲を消す

消す前に、曲の内容をよく確認してください。



- 1 消したい曲の再生中に、ERASE/DELETEボタンを押す。
1曲リピート再生になり、表示窓に「Erase OK? Push Enter」と表示されます。消すのを中止するとき、■ボタンを押します。

- 2 表示窓で曲番を確認し、TITLE/ENTERボタンを押す。

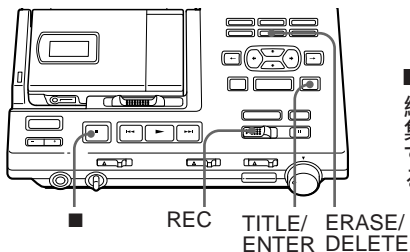
曲が消去され、次の曲の再生になります。消した曲より後の曲番は1つずつ繰り上がります。

曲の一部分を消すには

無音部分など不要な部分だけを消したいときは、不要な部分の始まりと終わりに頭出しマークをつけて(30ページ)その部分を消してください。

全曲を消す

ディスク上の全ての曲を消します。必ずディスクの内容を確認しておいてください。

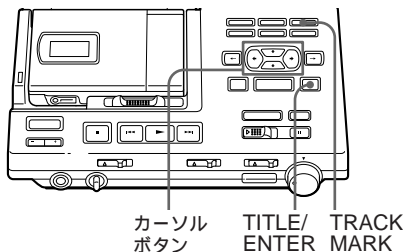
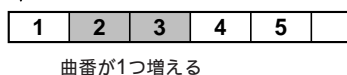


- 1 停止中に、ERASE/DELETEボタンを押しながらRECスイッチを右にずらす。
表示窓に「All Erase OK? Push Enter」が表示されます。消すのを中止するとき、■ボタンを押します。
- 2 TITLE/ENTERボタンを押す。
「TOC EDIT」表示が点滅し、全曲が消去されます。消去が終わると「BLANK DISC」と表示されます。

頭出しマーク(曲番)をつける

(TRACK MARK ON)

曲の途中に頭出しマークをつけて、そこから後ろを次の曲にすることができません。曲番は次のようになります。



- 1 再生中または再生一時停止中に、マークをつけたい位置でステーションのTRACK MARKボタンを押す。

「Rehearsal」と「Track Mark ON OK? Push Enter」が表示され、ボタンを押したところから4秒間分をくりかえし演奏します。マークをつけたいところとずれていたら、カーソルボタンを押して調節します。約0.06秒ずつ、前後8秒間ずつまでずらせます。

中止するときは、■ボタンを押します。

- 2 TITLE/ENTERボタンを押す。「Track Mark ON」が表示され、曲番が1つ増えます。そこから次の曲として記録されます。

本体でもマークをつけられます。再生中または再生一時停止中にマークをつけたい位置でT MARKボタンを押します。押したところにマークがつかます。

録音中にマークをつけることもできます

録音中にTRACK MARKボタン、本体のT MARKボタン、または液晶リモコンのTRACK MARKボタンを押してください。押したところにマークがつかます。

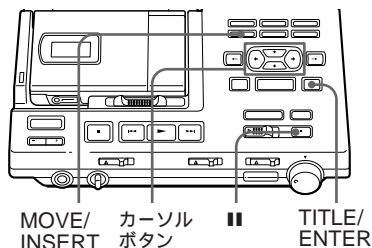
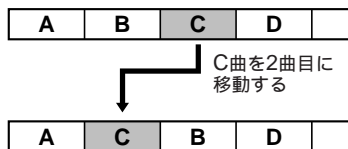
ご注意

本体でマークをつけるときや、録音中にマークをつけるときは、T MARKボタンやTRACK MARKボタンを押した時点でマークが付きます。位置の調節はできません。

曲順を変える(MOVE)

曲を移動して、曲順を変更できます。

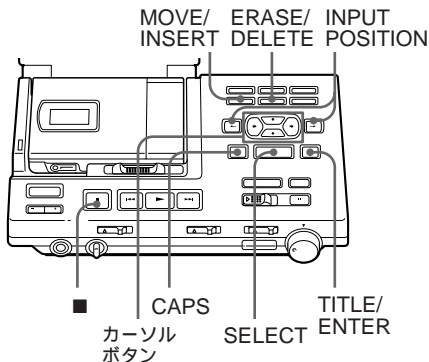
例:C曲を2曲目に移動するとき



- 1 移動したい曲の再生または再生一時停止中に、MOVE/INSERTボタンを押す。
上記の例では表示窓に「Move No.003 No.003」「OK? Push Enter」と表示されます。
- 2 カーソルボタンを押して、移動先の曲番を指定する。
←または↓を押すと前の曲番に、↑または→を押すと後の曲番になります。ムーブを中止するときは■ボタンを押します。
- 3 TITLE/ENTERボタンを押す。
指定した曲の前に移動したい曲が移ります。

曲名やディスク名をつける(TITLE)

録音した曲の曲名やディスク名をそれぞれ200文字までつけることができます。1枚のディスクには英数字/記号で約1700文字、カナ文字のみで約800文字まで入力できます。



- 1 曲名をつけるときは、その曲を再生する。ディスク名をつけるときは、そのディスクを入れる。
すでに入っているディスクのディスク名をつけるときは、■ボタンを押して停止します。
- 2 TITLE/ENTERボタンを押す。
カナ文字の一覧表が表示されます

- 3 カーソルボタンで文字を選び、SELECTボタンを押す。
使えるボタンと機能は以下の通りです。



カーソル

ボタン	機能
CAPS	カナ アルファベット 記号と数字 文例集の順 に切り替わる。
カーソルボタン	文字カーソルを上下左右 に移動*する。
INPUT POSITION /	記入位置を左右に移動す る。
SELECT	選んだ文字を確認し、記 入位置を右に進める。
■	タイトルをつけるのを中 止する。
MOVE/INSERT	記入位置に空白を挿入す る。
ERASE/ DELETE	記入位置の文字を削除 し、以降の文字を一文字 ずつつめる。

*カタカナ入力時にカーソル↓を押すと、「ア」「カ」「サ」「タ」の順にカーソルが移動します。↑を押すと戻ります。

- 4 手順3をくりかえして名前をつける。

- 5 TITLE/ENTERボタンを押す。
曲名またはディスク名が付きま

途中でやめるときは

■ボタンを押します。

文例集について

よく使うディスク名、曲名またはメッセージなどを42種類用意しています。カーソル←/→を押すと、ページを移動します。カーソル↑/↓を押すと、カーソル(>)が上下に移動します。SELECT を押すと、(>)で選んだ文例集の文章を全て入力します。



カーソル

ページ表示

入力できる文字

- カタカナ
- アルファベットA~Zの大文字、小文字
- 数字0~9
- 記号 ! " # \$ % & () * + - . ; < = > ? @ _ ` ' , / : _ (スペース)

名前を変えるには

手順1、2を行なって、変更したい曲名またはディスク名を表示させます。変更したい名前の上から新しい名前を入力し、TITLE/ENTERボタンを押します。



カナで入力したタイトルを、カナ表示に対応していないミニディスク機器で表示させると、ローマ字表記になります。その際、カナの先頭と最後に「^」が付きま

ご注意

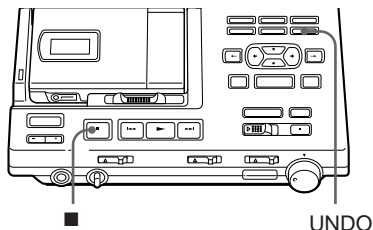
市販のソフトや録音していないディスクに、曲名やディスク名をつけたり、書き換えをすることはできません。

最後に行なった編集操作を取り消す(UNDO)

最後に行なった編集操作を取り消し、その前の内容に戻します。

ただし、編集後に次のいずれかの操作をすると取り消せません。

- ・ RECスイッチをずらす。
- ・ 電源を切ったり、MDを取り出したりする。
- ・ 本体をステーションから取りはずす。
- ・ 最後に行なった操作から5分以上何も操作していない。
- ・ ACパワーアダプターをコンセントから抜く。



- 1 停止中にUNDOボタンを押す。最後に行なった編集操作に応じて、次のメッセージが表示されます。

編集操作	メッセージ
1曲を消す	「Erase Undo OK?」
1枚のMDのすべての曲を消す	「All Erase Undo OK?」
頭出しマークをつける	「Track Mark ON Undo OK?」
頭出しマークを消す	「Track Mark OFF Undo OK?」
曲を移動する	「Move Undo OK?」
ディスク名をつける	「Disc Name Undo OK?」
曲名をつける	「Track Name Undo OK?」

- 2 TITLE/ENTERボタンを押す。「TOC EDIT」が数秒間表示されて、編集前のMDの内容に戻ります。

編集操作を取り消すのを途中でやめるには

- ボタンを押す。

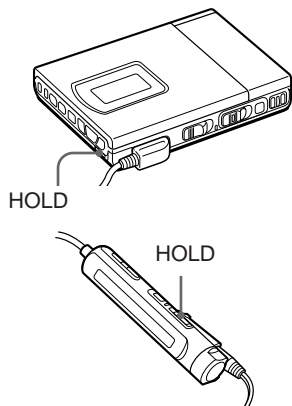
ご注意

UNDOの操作をあとでさらに取り消すことはできません。

誤操作を防ぐ

(ホールド機能)

カバンに入れて使うときなどに、誤ってボタンが押されるのを防ぎます。



1 HOLDスイッチを→方向にずらす。

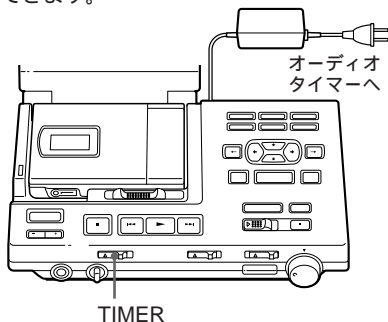
本体のHOLDスイッチは本体の操作ボタンが、リモコンのHOLDスイッチはリモコンの操作ボタンが働かなくなります。逆方向にずらすと、解除されます。



本体をステーションに取りつけているときは本体のホールド機能は働きません。リモコンのホールド機能は働きます。

タイマー録音・再生する

別売りまたはお手持ちのオーディオタイマーをつなぐと、タイマー録音・再生ができます。



- 1 オーディオタイマーにステーションのACパワーアダプターをつなぐ。
- 2 アナログ入力からタイマー録音するときは、録音レベルを調節して■ボタンを押す(20ページの手順4~6)。
- 3 TIMERスイッチを「REC」または「PLAY」に合わせる。
タイマー録音するとき：
「REC」にする。
録音は自動的に録音済み部分の後ろから始まります。
タイマー再生するとき：
「PLAY」にする

便利な機能

4 オーディオタイマーでタイマー設定をして電源を切る。

設定時刻になってオーディオタイマーに電源が入ると、本機にも自動的に電源が入って録音または再生が始まります。

ご注意

- モノラル録音するときは、手順3のあとでMODEボタンを2秒以上押したままにして、タイマー録音設定表示を出します。「Stereo」と表示されていたら、もう一度MODEボタンを押して「Monaural」表示にします。
- 初めてお使いになるときや、長い間お使いにならなかったあとでタイマー録音する場合は、ステーションに内蔵のバックアップ電池を充電してください。バックアップ電池は、タイマー録音が終わって電源が切れたあとに、本機がTOCの書き込みをするために使われます (TOCについては52ページ参照)。ステーションにACパワーアダプターをつないで約10時間で充電されます。電池は約1週間もちますので、タイマーも1週間以内の設定にしてください。

録音の接続—

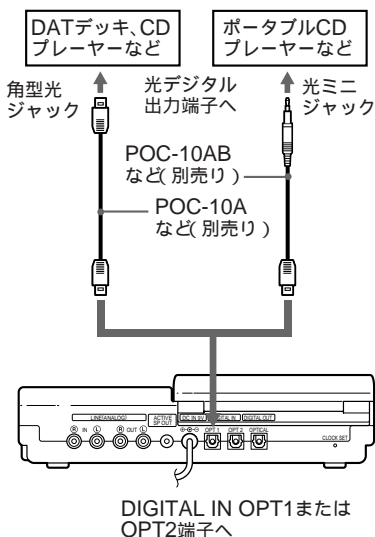
CDプレーヤーなどにつなぐ

他のオーディオ機器の音源を、本機で録音するための接続です。デジタル伝送とアナログ伝送の接続があります。

録音の方法に応じて接続してください。

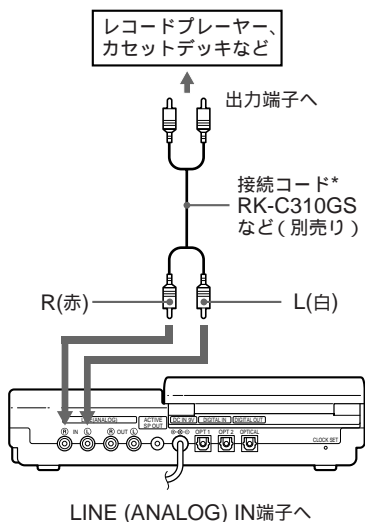
デジタル録音のための接続

本機はサンプリングレートコンバーター内蔵のため、DATデッキやBSチューナーなど、サンプリング周波数の違うデジタル機器とつないでデジタル録音できます。この接続を行なったらステーションにあるINPUTスイッチを「OPT1」または「OPT2」に合わせてください。



アナログ録音のための接続

この接続を行なったらステーションにあるINPUTスイッチを「ANALOG」に合わせ、録音レベルを調節してください(20ページ)。



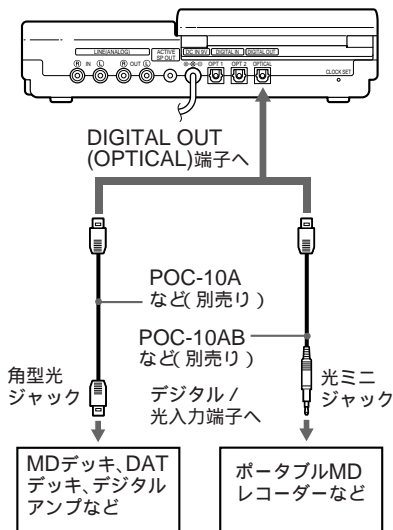
* 接続コードには抵抗の入っていないものをお使いください。

再生の接続

アンプやアクティブスピーカーなど とつなぐ

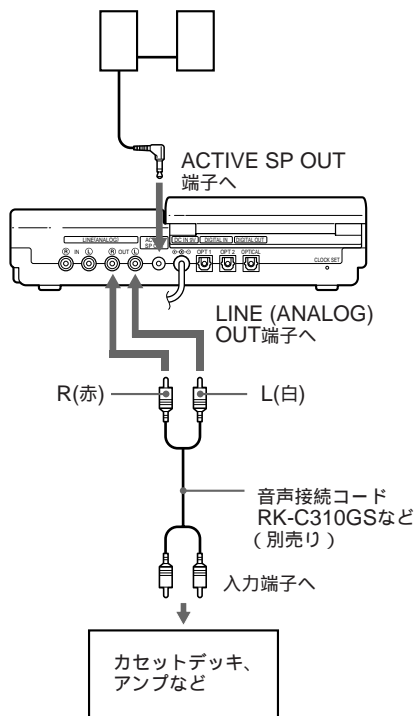
本機の再生音を、他のオーディオ機器で聞いたり録音するための接続です。デジタル伝送とアナログ伝送の接続があります。他の機器の種類や使いかたに応じて接続してください。

デジタル機器への接続



アナログ機器への接続

アクティブスピーカーSRS-Z1000
など(別売り)



電源について

本機で使える電源は、以下の通りです。

ステーションで使うとき

- 家庭用電源 (コンセント)

本体のみで使うとき

本体に入れて...

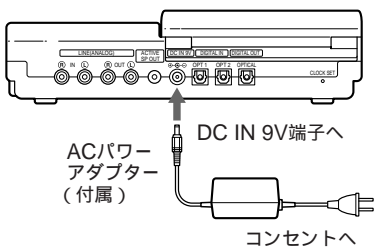
- 充電式のリチウムイオン電池
LIP-8

外付けバッテリーケースを使って

- アルカリ単3形乾電池2本
- 充電式のニッケル水素電池
BP-DM20

家庭用電源 (コンセント)で使う

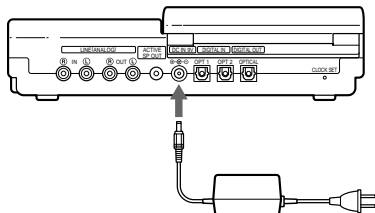
ステーションは家庭用電源でのみお使い
になれます。



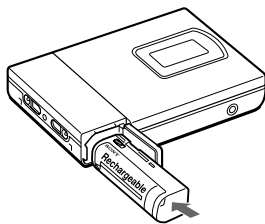
リチウムイオン電池を 充電する

充電式のリチウムイオン電池LIP-8(付
属)が使えます。お使いになるまえに必
ず充電してください。充電はステーショ
ンで行ないます。

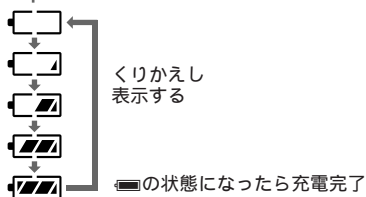
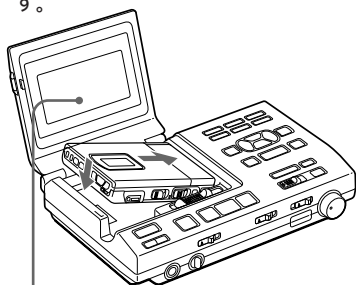
- 1 ステーションを家庭用電源
(コンセント)につなぐ。



- 2 本体に充電式リチウムイオン電池
LIP-8(付属)を入れる。



- 3** 本体をステーションに取りつける。
□の表示が出て、充電が始まります。

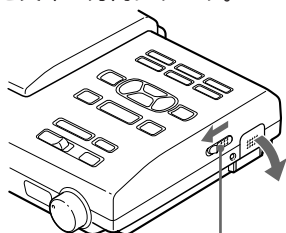


💡
電源がON、OFFいずれのときも充電されません。

ステーションのみで充電するには

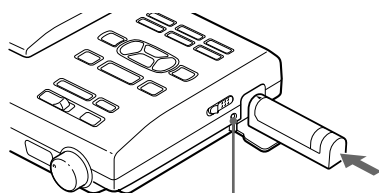
ステーションのみでもリチウムイオン電池LIP-8を充電できます。

- 1** ステーション側面のOPENスイッチを矢印の方向にずらす。



OPENスイッチ

- 2** リチウムイオン電池(付属)を入れて、ふたをしめる。



充電中点灯する。
消えたら充電完了

💡
本体にもリチウムイオン電池LIP-8が入っていると、本体の電池を先に充電します。その間は、ステーションのCHARGEランプが点滅します。

充電時間

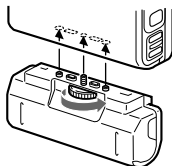
80%充電	約2時間
-------	------

充電完了	約3時間
------	------

乾電池・ニッケル水素電池で使う

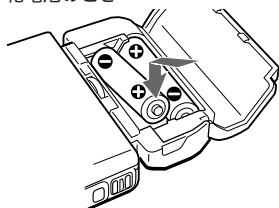
外付けバッテリーケースを使います。充電式ニッケル水素電池(別売り)で使うときは、お使いになる前に必ず専用の充電器(別売り)で充電しておいてください。

- 1 バッテリーケース(付属)を取り付ける。

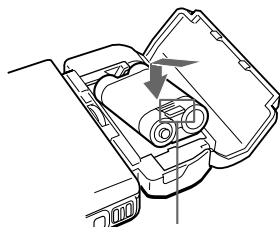


- 2 乾電池または充電したニッケル水素電池を入れる。

乾電池のとき



充電式ニッケル水素電池のとき



突起部が手前になるように

ご注意

- 本機ではニッケル水素電池BP-DM20を充電できません。
- 充電式リチウムイオン電池と、乾電池や充電式ニッケル水素電池を併用時、片方の電池だけ交換したい場合も、いったん停止させてから交換してください。

各電池の持続時間

長時間録音するときは、ステーションに取り付けることをおすすめします。

	録音時	再生時
充電式リチウムイオン電池(LIP-8)	約3.5時間	約5.5時間
ソーナールカリ乾電池LR6(SG)2本	約4.5時間	約9時間
充電式ニッケル水素電池BP-DM20	約4.5時間	約6.5時間
充電式リチウムイオン電池(LIP-8)+ソーナールカリ乾電池LR6(SG)2本	約8時間	約16時間
充電式リチウムイオン電池(LIP-8)+充電式ニッケル水素電池BP-DM20	約8時間	約13時間

* 周囲の温度や使用状態により、上記の持続時間と異なる場合があります。

**録音する場合には電池の消耗による失敗を防ぐため、新しい乾電池または十分に充電した充電式電池をお使いください。

電池交換の目安について

電池が消耗すると、本体やリモコンの表示窓に☐が点滅したりまたは「LO BATT」が表示されます。新しい電池と交換するか、充電しなおしてください。

使用上のご注意

分解しないでください

ミニディスクレコーダーに使われているレーザーが目にあたると危険です。

レンズに触れないでください

レンズが汚れると音飛びが起きたり、再生できなくなったりする場合があります。

また、ほこりにつかないように、ディスクの出し入れ以外はふたを必ず閉じておいてください。

ACパワーアダプターについて

本機には、付属のACパワーアダプター（極性統一形プラグ・EIAJ規格）をご使用ください。上記以外のACパワーアダプターを

使用すると、故障の原因になることがあります。



極性統一形プラグ

置き場所について

次のような場所には置かないでください。

- 直射日光の当たる場所や暖房器具の近く。
- 窓を閉めきった自動車内（とくに夏季）。
- 風呂場など、湿気が多いところ。
- ほこりが多いところ。
- 磁石、スピーカーボックス、テレビなど磁気を帯びたものの近く。

温度上昇について

本機は電源を切った状態でも、表面の温度が多少上昇することがありますが、故障ではありません。

操作中の動作音について

本機は省電力の動作方式になっています。そのため、動作中は断続的に動作音がしますが故障ではありません。

表面のお手入れについて

水やぬるま湯を少し含ませた柔らかい布で軽くふいたあと、からぶきします。シンナー、ベンジン、アルコールなどは表面をいためますので使わないでください。

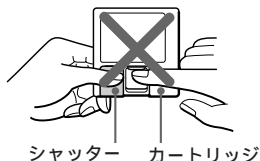
リモコンプラグのお手入れについて

リモコンプラグが汚れていると雑音や音飛びの原因になることがあります。常によい音でお聞きいただくために、リモコンの先端のプラグ部をときどき柔らかい布でからぶきしてください。

ミニディスクの取り扱いについて

ミニディスク自体はカートリッジに収納され、ゴミや指紋を気にせず手軽に扱えるようになっています。ただし、カートリッジのよごれや反りなどが誤動作の原因になることもあります。いつまでも美しい音で楽しめるように次のことにご注意ください。

- ミニディスクに直接触れない
シャッターを手で開けないでください。無理に開けるとこわれます。




- 置き場所について
直射日光があたる場所など温度の高いところや湿度の高いところには置かないでください。また、砂浜など、ディスクに砂が入る可能性があるところには放置しないでください。
- 定期的にお手入れを
カートリッジ表面についたほこりやゴミを、乾いた布でふきとってください。
- 充電端子の汚れは
乾いた布でふきとってください。

万一故障した場合は、内部を開けずにお買い上げ店またはソニーのサービス窓口にご相談ください。

故障かな?と思ったら

サービス窓口にご相談になる前にもう一度チェックしてみてください。

本体

症状	原因	処置
操作を受けつけない	ホールド機能が働いている (本体の操作ボタンを押すと「HOLD」表示が点滅)。	HOLDスイッチを矢印と逆の方向にしてホールド機能を解除する(35ページ)。
	充電電池または乾電池が消耗している ( または「LoBATT」表示が点滅)。	充電電池を充電するか、乾電池を2本とも交換する(39、40、41ページ)。
	乾電池が正しく入れられていない。	乾電池の⊕端子と⊖端子を正しく入れなおす(41ページ)。
ふたが開かない	ふたのロックが解除されていない。	充電電池や乾電池を交換するか、ステーションに取りつけてから、OPENスイッチを操作する。
録音・編集できない	マイクがつながっていない。(本体で録音するとき)	マイクをつなぐ。
	録音レベルが小さすぎる(手動調節時)。	録音レベルを調節する(19ページ)。
ヘッドホンから音が出ない	リモコン付きヘッドホンがしっかり差し込まれていない。	⊘/REMOTEジャックにしっかり差し込む。
	リモコンプラグが汚れている。	リモコンプラグをからびさす。
	音量が小さすぎる。	AVLSスイッチを「NORMAL」にする(27ページ)。

ステーション

症状	原因	処置
操作を受けつけない	ACパワーアダプターがしっかり差し込まれていない。	DC IN 9V端子とコンセントにしっかり差し込む。
	本体をステーションにしっかり取りつけていない。	正しく取りつける(10、11ページ)。
充電ができない	ACパワーアダプターが正しく接続されていない。	正しく接続しなおす(39ページ)。
録音・編集できない	音源と正しく接続されていない。	接続しなおす(37、38ページ)。
	INPUTスイッチが正しく切り換えられていない。	音源をつないだ端子にINPUTスイッチを合わせる(37ページ)。

ステーション

症状	原因	処置
録音・編集できない	録音レベルが小さすぎる (アナログ録音時)。	録音レベルを調節する (20ページ)。
	ポータブルCDプレーヤーとつないでデジタル入力で録音するときに、ポータブルCDプレーヤーを一時停止にしていない (「NO DIGITAL SIGNAL」表示が出る)。	ポータブルCDプレーヤーを一時停止にしてから録音する。
	ポータブルCDプレーヤーからデジタル出力が出ていない。	ポータブルCDプレーヤーは家庭用電源で使い、音飛びガード機能 (ESPなど) を「切」にする。
	抵抗入りの接続コードを使った (アナログ録音時)。	抵抗が入っていない接続コードを使う。
表示パネルにいろいろな表示が次々出てくる	デモモードになっている (電源が切れている状態でDISPLAYボタンを2秒以上押した)。	DISPLAYボタンを2秒以上押したままにして、通常の状態に戻す。

共通

症状	原因	処置
操作を受けつけない	結露 (内部に水滴が付着) している。	ディスクを取り出して、ふたを開けたまま数時間おく。
	何も録音されていないディスクが入っている (「BLANK DISC」表示が出る)。	他のディスクと取り換える。
	表示窓のディスク表示が早く回転しているときは操作を受け付けられません。	ディスク表示がゆっくり回転してから次の操作をする。
	使用中、衝撃や過大な静電気、落雷による電源電圧の異常などのために強いノイズを受けた。	次の手順で操作し直す。 1 すべての電源をはずす。 2 約30秒間そのままにする。 3 電源をつなぐ。
	ディスクが損傷している (「DISC ERR」表示が出る)。	ディスクを入れ直す。それでも「DISC ERR」表示が出るときは、他のディスクと取り換える。
通常の再生ができない	リピート再生を指定した。	MODE (リモコンではPLAY MODE) ボタンを押して、◀ (リピート) 表示が消えてから再生を始める (26ページ)。
ディスクの1曲目から再生できない	前回再生したときディスクの途中で止めた。	◀◀ ボタンを押す (リモコンでは回転つまみを◀◀ 側に回す) か、一度ふたを開けて、再生を始める位置をディスクの最初に返す。

共通

症状	原因	処置
再生中に音がとぎれる	振動の多い場所に置いている。 ナレーションやイントロなど1曲の録音時間が極端に短いと、音がとぎれることがあります。	振動の少ない場所で使う。 -
雑音が多い	テレビなど強い磁気を帯びたものの近くに置いている。	テレビなどから離して置く。
録音・編集できない	ディスクの誤消去防止つまみが開いている (「PROTECTED DISC」または「SAVED」表示が出る)。 再生専用ディスクが入っている (「P/B ONLY」表示が出る)。 ディスクの残り時間が12秒以下である (「DISC FULL」または「FULL」表示が出る)。 録音、または編集中に電源が抜かれた、または停電になった	つまみを戻す。 録音用ディスクと取り換える。 他の録音用ディスクと取り換える。 それまでの録音の内容は消える。初めから録音しなおす。
頭出しマークのある位置を頭出しできない	◀◀または▶▶ ボタンを押してから一時停止した。	ボタンを押して一時停止してから◀◀または▶▶ ボタンを押して頭出ししてください。
ヘッドホンから音が出ない	音量が小さすぎる。	VOL -/+ ボタン (ステーションのLEVELつまみ) で音量を調節する。
時計表示が出ない (-y--m--dになる) 録音日時が記録されない	時計合わせをしていない。	時計を合わせる (22ページ)。
時計が正確に動かない	長時間電源をはずしていたため内蔵の時計用電源が消耗している。	本体をステーションに取りつけて充電する。ただし、時計用電源が消耗していなくても月に2分程度の誤差が生じることがあります (23ページ)。

システム上の制約による症状と原因

ミニディスクシステムでは、従来のカセットやDATとは異なる方式で録音が行われます。そのため、いくつかのシステム上の制約があり、次のような症状が出る場合があります。これらは、故障ではありませんので、あらかじめご了承ください。

症状	原因
最大録音可能時間 (60分、74分) に達していなくても、「TRACK FULL」表示が出る。	254曲録音されるとそれ以上の録音はできません。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。
曲数も録音時間も余裕があるのに、「TRACK FULL」表示が出て、録音が止まる。	同じディスクで録音、消去をくりかえすと、1曲のデータが連続して記録されず、空いているところに分割して記録されることがあります。ミニディスクは、このような場合でも離れたデータをすばやく探し出し、順に再生します。ただし、分割したそれぞれのデータは曲の区切り(1曲)と同じ扱いになり、全部で254曲になると、録音できなくなります。さらに曲を追加するには、不要な曲を消して録音してください。
頭出しマーク (曲番) が消せない。	つなごうとする曲のデータがディスク上に分散し、それぞれのデータの長さが12秒以下のとき、その曲の頭出しマーク (曲番) を消して前の曲とつなぐことはできません。また、ステレオ録音した曲とモノラル録音した曲、デジタル接続で録音した曲とアナログ接続で録音した曲もつなぐことはできません。
曲を消しても、ディスクの録音できる残り時間が増えない。	ディスクの録音できる残り時間を表示するとき、12秒以下の部分は無視します。このため、短い曲を何曲消しても録音できる残り時間が増えないことがあります。
ディスクに録音した時間と残り時間の合計が、最大録音可能時間 (60分、74分) に一致しない。	通常、録音は約2秒を最小単位としてディスクに記録します。録音を止めたところでは、記録の最後の部分が実際には2秒に満たない場合でも2秒分のスペースを使います。また、録音を止めた後再び録音を始めるときには、録音を始めたところで約2秒分のスペースを空けて記録を始めます。これは、録音を始めるときに誤って前の曲を消さないためです。このため、実際に録音できる時間は録音を止めるたびに、最大録音可能時間よりも最大で6秒短くなります。
編集した曲を再生しながら早送り、早戻しすると、音がとぎれる。	再生しながら早送り、早戻しするときは通常より高速で再生するため、短い曲がディスク上のいろいろなところに点在していると、探すのに時間がかかり、音がとぎれることがあります。

エラー表示一覧

ステーションまたはリモコンの表示窓にエラー表示が出たら、下の表にしたがってチェックしてみてください。また、本体表示窓に **---**、**---** が交互に表示されたら、エラー発生中です。リモコンの表示窓のエラー表示を確認してください。

ステーション (リモコン) の表示	意味	対策
BLANK DISC (BLANK)	何も録音されていないディスクが入っている (再生・編集時)。	他のディスクと取り換える。
CONNECTION ERROR (-)	本体のステーションへの取りつけが不完全。	しっかり取りつける。
DISC ERROR (ERROR)	異常なディスク (損傷している、録音や編集の内容などの情報が入っていない) が入っている。	ディスクを入れなおす。それでも「DISC ERROR」表示が出るときは、他のディスクと取り換える。
DISC FULL (FULL)	ディスクの残り時間が12秒以下である (録音時)。	他の録音用ディスクと取り換える。
EDIT BUSY (BUSY)	録音または編集の内容の処理をしている。	しばらくお待ちください。まれに2~3分ほどかかる場合があります。
- (LoBATT)	電池が消耗した。	新しい乾電池と入れ換えるか、充電池を充電しなおす (39~41ページ)
MEMORY OVER (MEMORY)	表示窓に何も表示されていないときに、振動のあるところで録音を始めた。	振動のないところで録音し直す。
NAME FULL (-)	曲名やディスク名を200文字を越えて入力しようとした。 1枚のディスク上の文字が約1700文字を越えた。	文字数の制限内で入力してください。
NO DIGITAL SIGNAL (-)	デジタル入力信号が途切れた。	デジタル入力の接続を確かめる。 アナログ入力するときは無視する。
NO DISC (NoDISC)	ディスクが入っていない。	ディスクを入れる。
P/B ONLY (PbONLY)	再生専用ディスクが入っている (録音・編集時)。	録音用ディスクと取り換える。
PROTECTED DISC (SAVED)	ディスクが誤消去防止状態になっている。	誤消去防止つまみを戻す。

ステーション (リモコン) の表示	意味	対策
PROTECTED TRACK (TrPROT)	トラックプロテクト (曲の誤消去防止) がかかっている曲に録音・編集をしようとした。	他の曲で録音・編集してください。
SCMS NO COPY (-)	シリアルコピーマネージメントシステム (SCMS) によりダビングは禁止されている。	アナログ入力 (LINE) を使って録音する (37ページ)。
SORRY (SORRY)	ディスクの1曲目の頭で、頭出しマークを消そうとした。または、種類の異なる曲と曲の頭出しマークを消そうとした。例えばステレオ録音された曲とモノラル録音された曲の頭出しマークを消そうとした。	-
TEMPERATURE OVER (TEMP)	本機の温度が高くなりすぎた。	涼しいところで本機をしばらく休ませてから使う。
TRACK FULL (TrFULL)	曲番が254を超えた。	曲番を削除して254以下にする。

保証書とアフターサービス

保証書

- この製品には保証書が添付されていますので、お買い上げの際お買い上げ店でお受け取りください。
- 所定事項の記入および記載内容をお確かめのうえ、大切に保存してください。
- 保証期間は、お買い上げ日より1年間です。

アフターサービス

- 調子が悪いときはまずチェックをこの説明書をもう一度ご覧になってお調べください。
- それでも具合の悪いときはサービスへお買い上げ店、または添付の「ソニーサービスご相談窓口のご案内」にあるお近くのソニー相談窓口にご相談ください。
- 保証期間中の修理は保証書の記載内容に基づいて修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。
- 保証期間経過後の修理は修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有料修理させていただきます。

- 部品の保有期間について
当社ではポータブルミニディスクレコーダーの補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）を、製造打ち切り後最低8年間保有しています。この部品保有期間を修理可能期間とさせていただきます。保有期間が経過した後も、故障個所によっては修理可能の場合がありますので、お買い上げ店か、サービス窓口にご相談ください。

主な仕様

ミニディスク

形式

ミニディスクデジタルオーディオシステム

録音方式

磁界変調光学方式

再生読み取り方式

非接触光学読み取り(半導体レーザー使用)

レーザー

GaAlAsダブルヘテロダイオード、
=780nm

録音再生時間

最大148分(MDW-74使用、モノラル録音、再生時)

最大74分(MDW-74使用、ステレオ録音、再生時)

回転数

約400rpm~900rpm(CLV)

エラー訂正方式

アドバンスドクロスインターリーブリードソロモンコード(ACIRC)

サンプリング周波数

44.1kHz

コーディング

アダプティブトランスフォームアコースティックコーディング(ATRAC)

変調方式

EFM

チャンネル数

ステレオ2チャンネル
モノラル1チャンネル

ワウフラッター

測定限界以下

本体

周波数特性

20~20,000 Hz \pm 3dB

入力端子

MIC (PLUG IN POWER) : ステレオミニジャック、入力レベル0.22~0.78mV

出力端子

Ⓐ/REMOTE : ステレオミニジャック、最大出力レベル5mW+5mW、負荷インピーダンス16

ステーション

周波数特性

5~20,000 Hz \pm 0.5dB

S/N比(EIAJ*)

デジタル 96dB以上
アナログ 92dB以上

入力端子

LINE (ANALOG) IN : ピンジャック、規定入力レベル500mV
DIGITAL IN OPT1, OPT2 : 角形光コネクター、発光波長660nm

出力端子

LINE (ANALOG) OUT : ピンジャック、規定出力レベル500mV、負荷インピーダンス10k 以上
ACTIVE SP OUT : ステレオミニジャック、規定出力レベル500mV、負荷インピーダンス4.7k 以上
DIGITAL OUT : 角形光コネクター、出力レベル-17dBm、発光波長660nm
Ⓐ/HEADPHONES : ステレオ標準ジャック、最大出力レベル5mW+5mW、負荷インピーダンス16

サンプリングレートコンバーター

入力 : 32kHz/44.1kHz/48kHz
出力 : 44.1kHz

* EIAJ (日本電子機械工業会) 規格による測定値です。

電源・その他

電源

本体:

- 充電式リチウムイオン電池
LIP-8 (付属)
- 充電式ニッケル水素電池
BP-DM20 (別売り)
- 乾電池 アルカリ単3形2本 (別売り)

ステーション:

- 外部電源ジャック DC IN 9V
- ACパワーアダプター (付属) AC100V
50/60 Hz

電池持続時間

「各電池の持続時間」(41ページ) 参照

最大外形寸法

- 本体 約 104.5 × 20.1 × 77 mm
- ステーション 約 232 × 61 × 154 mm (幅/高さ/奥行き、最大突起部を含まず)

質量

- 本体 約185g
- 本体使用時 約235g (録音用ミニディスク、リモコン付きヘッドホン、充電電池LIP-8を含む)
- ステーション 約970g

付属品

- ACパワーアダプター (1)
- カードリモコン (1)
- リモコン付きヘッドホン (1)
- 充電式リチウムイオン電池 (1)
- 電池ケース (単3型アルカリ乾電池/充電式ニッケル水素電池用) (1)
- イヤータッチメント (1)
- キャリングポーチ (1)
- 取扱説明書 (1)
- ソニーご相談窓口のご案内 (1)
- 保証書 (1)

本機は、ドルビーラボラトリーズライセンスングコーポレーションの米国及び外国特許に基づく許諾製品です。

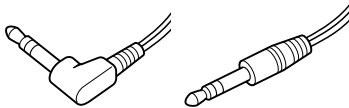
本機の仕様および外観は、改良のため予告なく変更することがありますが、ご了承ください。

別売りアクセサリ

- バッテリーチャージャー (LIP-8用)
BC-LIP8
- バッテリーチャージャー (BP-DM20用) BC-DM20
- リチウムイオンバッテリーパック (充電式リチウムイオン電池) LIP-8
- 充電式ニッケル水素電池BP-DM20
- 光デジタルケーブル
 - 光角形プラグ⇔光ミニプラグ
POC-5/10/15AB
 - 光角形プラグ⇔光角形プラグ
スタンダードシリーズPOC-5/
10/15A
 - Eシリーズ
 - Hシリーズ

- カーコネクティングバックCPA-8
- ステレオマイクロホンECM-717、
ECM-MS907、ECM-MS957
- ステレオヘッドホン*MDR-D77/
D55、MDR-CD470、MDR-E888SP
- アクティブスピーカーSRS-Z1000
- ミニディスク (生ディスク) ESシリーズ
MDW-60C/74C、プリズムシリーズ
MDW-60B/74B、カラーコレクション
シリーズ、ベリックシリーズ
- ミニディスクキャリングケースCK-
MD4
- ミニディスク・ファイリングボックス
CK-MD10

* ヘッドホンは、本体の○/REMOTEジャックに直接つなぐときも、リモコンにつなぐときも、ステレオミニプラグのものを求めください。



その他

解説

ここでは、技術用語やミニディスクの特徴的な動作について解説します。

ミニディスクとは

直径64mmのディスクをカートリッジに収めたデジタルメディア、それがミニディスク(MD)です。大きさはコンパクトディスク(CD)の約半分ですが、録音時間はほぼ同じ。音質においても、音声圧縮技術ATRAC(Adaptive Transform Acoustic Coding)により、CDに迫る高音質を実現しています。また、カートリッジに入っているため、指紋や傷つきにくく、取り扱いが手軽です。

「TOC EDIT」とは

TOCとはTable Of Contentsの略で、音声以外の情報を記録する、ミニディスク上の領域です。どの曲が何曲目で、ディスクのどこにあるかなどを記録しています。ミニディスクが本だとすると、索引や目次にあたります。

録音やトラックマークの記録・削除、曲の移動などのさい、ミニディスクレコーダーはTOCの書き換え作業を行います(TOC EDITが表示されます)。この間はディスクへの記録をしていますので、衝撃を与えたり、電源を抜いたりしないでください。記録が正しく行われなければ、ディスクの内容が失われることがあります。

サンプリングレートとは

サンプリングレートとは、1秒間の音声をどれだけの量のデジタル信号にするかを表わす数値です。一般に数値が大きいほど高音質になります。サンプリングレートの異なる機器同士では、通常デジタル信号によるダビングはできません。これを可能にするのが、サンプリングレートコンバータです。コンバータは、デジタル信号を他のサンプリングレート用のデジタル信号に変換します。本機はステーションにこのコンバータを内蔵しています。ステーションの光デジタル入力端子に入ってきたサンプリングレートの異なる信号(BSチューナー:32kHz, DAT:48kHzなど)は、コンバータによって、MDのサンプリングレート(44.1kHz)変換されて録音されます。

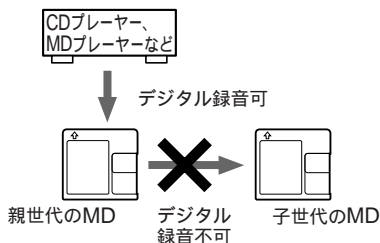
MDの曲番のつきかた

CDなど曲番のついたメディアから録音した場合、レコーダーは次のような条件で曲番を作成し記録します。デジタル入力からの録音 入力ソースのトラック番号が変化したとき
アナログ入力からの録音 2秒間以上無音状態が続き、その後音声が入ってきたとき。

なお、CDで「-0:03」から新しい曲番が始まっているときは、0:00になった時点でMDに新しい曲番が記録されます。

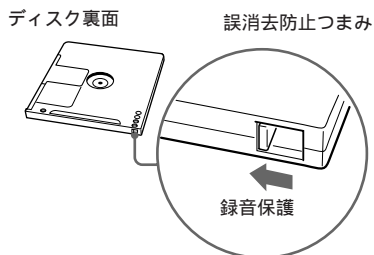
デジタル録音の制限について

本機は、音楽ソフトの著作権を保護するため、「シリアルコピーマネジメントシステム (SCMS)」に準拠しています。光デジタル入力端子から録音したミニディスクは、さらに他の機器でデジタル録音することはできません。デジタル入力で録音したミニディスクを別のミニディスクに録音するには、アナログ入力(ライン)を使ってください。



録音したものを誤って消さないために

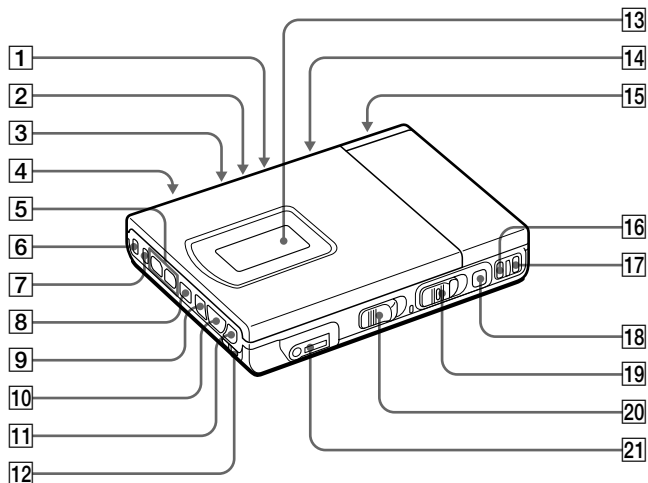
誤消去防止つまみをずらして穴が開いた状態にします。再び録音するときにはつまみをもとに戻します。



各部のなまえ

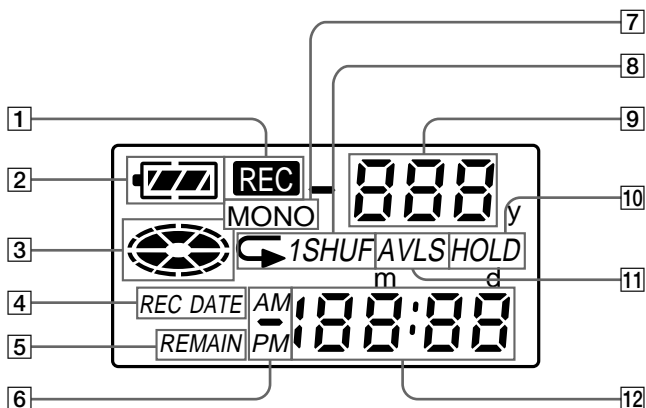
()内のページに詳しい説明があります。

本体



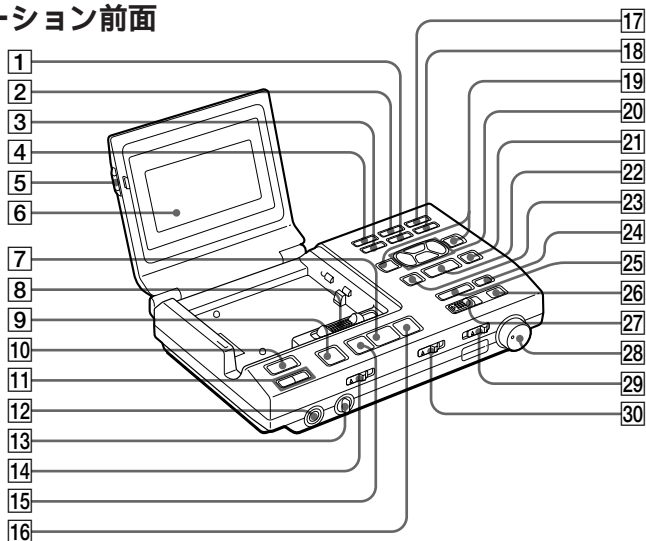
- | | | | |
|----|--------------------------------------|----|----------------------|
| 1 | MIC SENSスイッチ(底面)(19) | 12 | HOLDスイッチ(35) |
| 2 | DIGITAL MEGA BASSスイッチ
(底面)(26) | 13 | 表示窓(21、28、55) |
| 3 | AVLSスイッチ(底面)(27) | 14 | CLOCK SETボタン(底面)(23) |
| 4 | MIC (PLUG IN POWER) ジャック
(背面)(19) | 15 | 電池入れ(背面)(39) |
| 5 | VOL - / + ボタン(15) | 16 | END SEARCHボタン(13) |
| 6 | MODEボタン(18、26) | 17 | T MARKボタン(30、31) |
| 7 | DISPLAYボタン(21、28) | 18 | ⏏(一時停止)ボタン(13、15) |
| 8 | ■(停止)ボタン(13、15) | 19 | RECスイッチ(13、19) |
| 9 | ⏮(早戻し)ボタン(13、15) | 20 | OPENスイッチ(14) |
| 10 | ▶(再生)ボタン(13、15) | 21 | ⌂/REMOTEジャック |
| 11 | ⏭(早送り)ボタン(13、15) | | |

本体表示窓



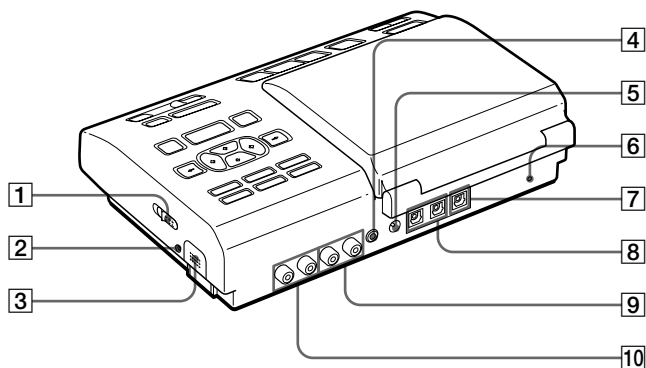
- | | |
|--|---|
| <p>1 録音表示
録音時に表示されます。録音一時停止のときは点滅します。</p> <p>2 電池表示 (40、41)
本体に充電が入っているときや充電を充電しているときに表示します。</p> <p>3 ディスク表示
録音、再生、編集のとき、ディスクが回転していることを示します。</p> <p>4 REC DATE表示 (21、28)
表示窓に録音日時が出ているときに表示されます。現在の日時が出ているときは「DATE」が表示されます。</p> <p>5 REMAIN表示 (21、28)
ディスクの残り曲数、ディスクや曲の残り時間を表示していることを示します。</p> <p>6 午前/午後表示 (21、28)
時刻が12時間表示のときに表示されます。</p> | <p>7 MONO表示 (18)
モノラル録音時や、モノラル録音されたディスクを再生時に表示されます。</p> <p>8 再生状態表示 (26)
ディスクの再生状態を表示します。</p> <p>9 曲番号表示
再生中の曲番号などを表示します。</p> <p>10 HOLD表示 (35)
本体のホールド機能がはたらいているときに表示されます。</p> <p>11 AVLS表示 (27)
音量リミット機能がはたらいているときに表示されます。</p> <p>12 時刻/時間表示 (21、28)
録音時刻、現在時刻、曲の再生時間、曲やディスクの残り時間を示します。</p> |
|--|---|

ステーション前面



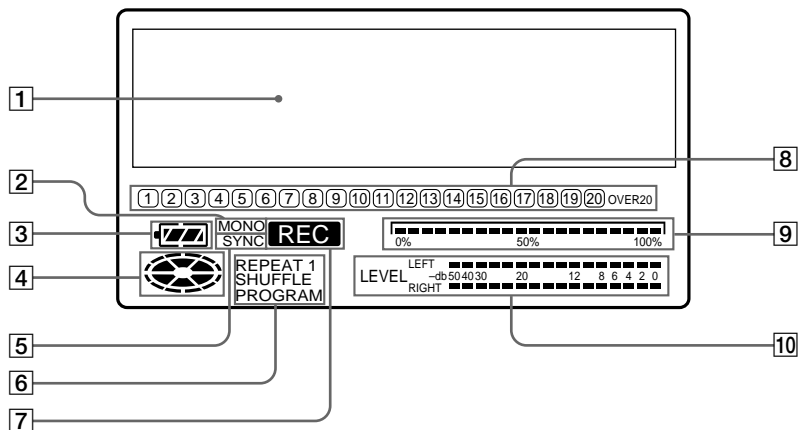
- | | | | |
|----|--|----|----------------------------|
| 1 | ERASE/DELETEボタン(29、32) | 14 | TIMERスイッチ(35) |
| 2 | MODEボタン(18、26) | 15 | ◀◀(早戻し)ボタン(13、24) |
| 3 | MOVE/INSERTボタン(32) | 16 | ▶▶(早送り)ボタン(13、24) |
| 4 | DISPLAYボタン(21、27) | 17 | TRACK MARKボタン(30、31) |
| 5 | PUSH OPENボタン(10) | 18 | UNDOボタン(34) |
| 6 | 表示パネル(21、27、58) | 19 | INPUT POSITION / ボタン(32) |
| 7 | ▶(再生)ボタン(13、24) | 20 | カーソルボタン(32) |
| 8 | OPEN・RELEASEスイッチ(11、12) | 21 | TITLE/ENTERボタン(32) |
| 9 | ■(停止)ボタン(13、24) | 22 | SELECTボタン(32) |
| 10 | POWERスイッチ | 23 | CAPSボタン(32) |
| 11 | ACTIVE SP LEVEL - / + ボタン(24) | 24 | END SEARCHボタン(13) |
| 12 | 🔊/HEADPHONES端子
標準ジャックのヘッドホンを接続
できます。 | 25 | TIME MACHINE RECボタン(17) |
| 13 | LEVELつまみ(24)
ヘッドホン端子につないだヘッド
ホンの音量を調節します。本体の
ヘッドホンとは別々に音量を調節
できます。 | 26 | (一時停止)ボタン(13、24) |
| | | 27 | RECスイッチ(13) |
| | | 28 | REC LEVEL (ANALOG) つまみ(19) |
| | | 29 | INPUTスイッチ(12、37) |
| | | 30 | SYNCHRO RECスイッチ(16) |

ステーション背面



- | | | | |
|---|---|----|-----------------------------------|
| 1 | OPEN (充電電池取り出し) スイッチ(40) | 5 | DC IN 9V端子(39) |
| 2 | CHARGEランプ(40)
ステーションに入っている充電電池を
充電しているときに点灯します。 | 6 | CLOCK SETボタン(22) |
| 3 | 充電電池入れ(40) | 7 | DIGITAL OUT (OPTICAL) 端子
(38) |
| 4 | ACTIVE SP OUT端子(38) | 8 | DIGITAL IN (OPT1、OPT2) 端
子(37) |
| | | 9 | LINE (ANALOG) OUT端子(38) |
| | | 10 | LINE (ANALOG) IN端子(37) |

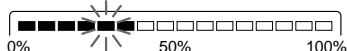
ステーション表示パネル



- 1 文字情報表示部 (21、27)
ディスク名や曲名、日付、エラー表示、曲番などが文字で表示されます。
- 2 MONO表示 (18)
モノラル録音時や、モノラル録音されたディスクを再生時に表示されます。
- 3 電池表示 (40、41)
本体に充電電池が入っているときや充電電池を充電しているときに表示します。
- 4 ディスク表示
録音、再生、編集のとき、ディスクが回転していることを示します。
- 5 SYNC表示 (16)
シンクロ録音時に表示されます。
- 6 再生状態表示 (25、26)
ディスクの再生状態を表示します。

- 7 録音表示
録音時に表示されます。録音一時停止のときは点滅します。
- 8 ミュージックカレンダー
ディスクに録音されている曲数やシャッフルリピート演奏時の残り曲などが表示されます。
- 9 ポジションポインター
ディスク上の操作位置を確認できません。現在録音または再生中の部分が点滅します。

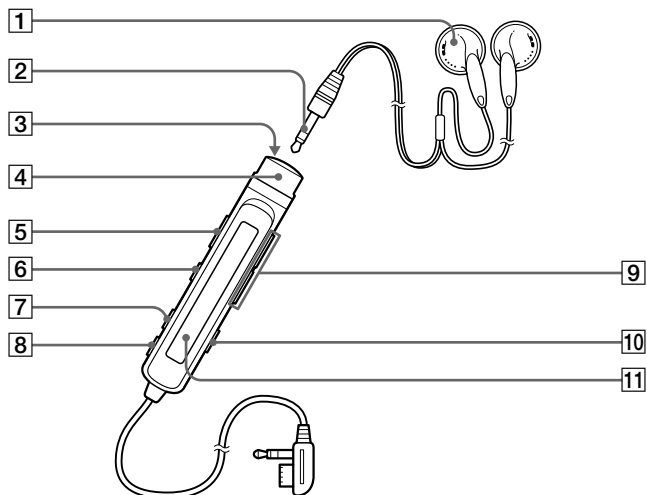
現在位置



- ←→ 録音済みの部分
- ←→ ディスク1枚の長さ

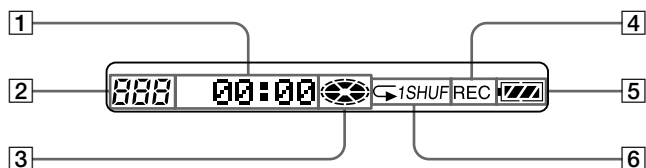
- 10 ピークレベルメーター

リモコン付きヘッドホン



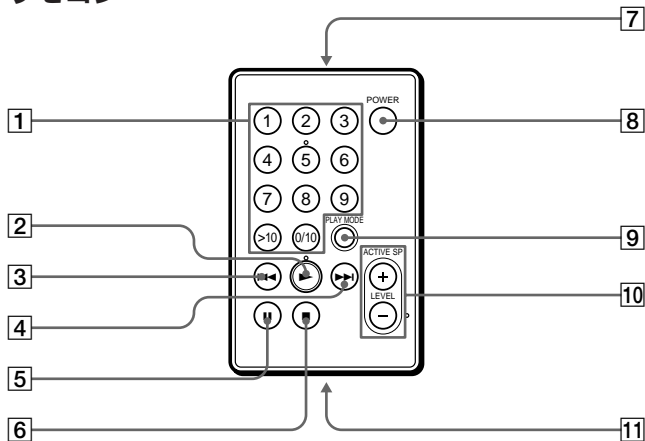
- ① ヘッドホン
別売りのヘッドホンに付け替えられます。
- ② ステレオミニプラグ
- ③ ■ (停止) ボタン (15)
- ④ 回転つまみ (15)
停止中に▶・▶▶側に回すと再生、再生中に▶・▶▶側に回すと頭出し、回したままにすると早送り、再生中に◀◀側に回すと頭出し、回したままにすると早戻しとなります。
- ⑤ HOLDスイッチ (35)
リモコンのボタンが動かなくなり、誤操作を防ぎます。
- ⑥ || (一時停止) ボタン (15)
- ⑦ PLAY MODEボタン (26)
- ⑧ DISPLAYボタン (22、28)
- ⑨ VOL (音量) - / + ボタン
- ⑩ TRACK MARKボタン (30)
- ⑪ 表示窓 (22、28、60)

リモコン表示窓



- | | |
|--|--|
| <p>1 文字情報表示部 (22、28)
ディスク名や曲名、日付、経過時間
などが文字で表示されます。</p> <p>2 曲番号表示
再生中の曲番号などを表示します。</p> <p>3 ディスク表示
録音、再生、編集のとき、ディスク
が回転していることを示します。</p> | <p>4 録音表示
録音時に表示されます。録音一時停
止のときは点滅します。</p> <p>5 電池表示 (40、41)
充電電池や乾電池の残量を表示しま
す。</p> <p>6 再生状態表示 (26)
ディスクの再生状態を表示します。</p> |
|--|--|

カードリモコン



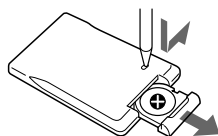
- | | |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> ① 数字ボタン (24) ② ▶ (再生) ボタン (24) ③ ◀◀ (早戻し) ボタン (24) ④ ▶▶ (早送り) ボタン (24) ⑤ (一時停止) ボタン (24) ⑥ ■ (停止) ボタン (24) | <ul style="list-style-type: none"> ⑦ 発光部 <li style="padding-left: 20px;">ステーション向けます。 ⑧ POWERスイッチ (24) ⑨ PLAY MODEボタン (26) ⑩ ACTIVE SP LEVEL +/- ボタン (24) ⑪ リチウム電池入れ (61) |
|--|--|

リモコンの使いかた

- 本体のリモコン受光部に直射日光や照明器具の強い光が当たっているとリモコン操作ができない場合があります。リモコンの届く距離は約5mです。
- 本機に付属のカードリモコンで、ソニー製のオーディオ製品が作動する場合があります。その場合は、本機とこれらのオーディオ製品を離してご使用ください。また、並べてご使用になる場合で、どちらかのリモコン作動を停止したい場合には、該当する機器のリモコン受光部をビニールテープなどで覆ってください。

リチウム電池の取り換えかた

リモコンで操作できる距離が短くなったら、新しいリチウム電池CR2025 (別売り) に取り換えてください。



- 1 ペン先等を穴に差し込み、スライドしたままりチウム電池入れを引き出す。
- 2 ⊕面を上にして新しいリチウム電池 CR2025を入れる。
⊕と⊖を正しく入れてください。逆に入れると、リモコンが動きません。

その他

Operating Instructions

Welcome!

Welcome to the world of the MiniDisc! Here are some of the capabilities and features you'll discover with the new MiniDisc Recorder.

- The MiniDisc station system — Use the recorder either by itself or attached to the station dock. To record digitally or edit labels, use the recorder attached to the station for enhanced features and connectivity. To playback MDs or record from the microphone, use the recorder detached from the station for portability.
- Optical digital IN/OUT jack — Since the signal is transmitted in digital form, you can get high quality recordings.
- Sampling rate converter — This circuit enables you to record programs from digital equipment using other sampling rates, such as a BS tuner or DAT deck.
- Variety of recording options
 - Long recording with monaural recording (up to 148 minutes).
 - Time Machine recording enables you to record from the top of a song even if you pressed the button after you heard the beginning of the song.
 - Connect to an audio-timer to record when you are not home.
- Easy editing with the large LCD panel and the editing buttons
 - Supports "katakana" characters.
 - Title samples (42 words and phrases).
 - UNDO function lets you undo an editing operation.
- Programmed playback — Play any set of tracks in the order of your choice.
- Card remote commander — Operate the station from a distance. Direct Track Selection available.
- Output jack for active speakers — Connect to the active speakers SRS-Z1000 (not supplied), etc. to enjoy powerful MD playback at your desktop.

Looking at the controls

The numbers are keyed to the illustrations in the Japanese text (pages 54 to 61).

The recorder

- 1 MIC SENS (Mic sensitivity)
- 2 DIGITAL MEGA BASS switch
Select to emphasize bass sound.
- 3 AVLS (Automatic Volume Limiter System) switch
Slide to LIMIT to limit the maximum volume.
- 4 MIC (PLUG IN POWER) jack
- 5 VOL (volume) -/+ buttons
- 6 MODE button
Each time you press here while playing an MD, the recorder plays the MD in a different play mode: normal play, all repeat, single repeat, or shuffle repeat. Press here while recording to select monaural recording.
- 7 DISPLAY button
Press to display the current play mode, the remaining time of the current track, the remaining time of the disc, or the recording date and time.
- 8 ■ (stop) button
- 9 ◀◀ (rewind/AMS) button
- 10 ▶▶ (play) button
- 11 ▶▶▶ (fast forward/AMS) button
- 12 HOLD switch
Slide to lock the controls of the recorder.
- 13 Display window
- 14 CLOCK SET button (at the bottom)
- 15 Battery compartment
- 16 END SEARCH button
- 17 T MARK button
- 18 || (pause) button
- 19 REC switch
- 20 OPEN switch
- 21 🎧/REMOTE (headphones/remote) jack

The display window of the recorder

- 1 REC indication
Lights up while recording. When flashing, the recorder is in record standby mode.
- 2 Battery indication
Shows battery condition. Lights up when a rechargeable battery is inserted. While charging the rechargeable battery, this indication shows the charging condition.
- 3 Disc indication
Shows that the disc is rotating for recording, playing or editing an MD.
- 4 REC DATE (recorded/current date) indication
Lights up along with the date and time the MD was recorded. When only "DATE" lights up, the current date and time are displayed.
- 5 REMAIN (remaining time/tracks) indication
Lights up along with the remaining number of tracks, remaining time of the track, or remaining time of the MD.
- 6 AM/PM indication
Lights up along with the time indication in the 12-hour system.
- 7 MONO (Monaural) indication
- 8 Play mode indication
Shows the play mode of the MD.
 - ☞ (all repeat): All tracks play repeatedly.
 - ☞ 1(single repeat): One track plays repeatedly.
 - ☞ SHUF(shuffle repeat): Tracks will be repeated in random order.
- 9 Track number indication
Shows the track number playing currently.
- 10 HOLD indication
Lights up when the HOLD switch is set on.
- 11 AVLS indication
Lights up when the AVLS switch is set on.
- 12 Time display
Shows the recorded time, current time, elapsed time of the track being played and the remaining time of the track or the disc.

Front panel of the Station

- 1 ERASE/DELETE button
- 2 MODE button
- 3 MOVE/INSERT button
- 4 DISPLAY button
- 5 PUSH OPEN button
- 6 Display window
- 7 ► (play) button
- 8 OPEN • RELEASE switch
- 9 ■ (stop) button
- 10 POWER switch
- 11 ACTIVE SP LEVEL -/+ buttons
- 12 Ⓞ HEADPHONES jack for stereo plug
- 13 LEVEL dial
Adjusts the volume of headphones connected to the ⓄHEADPHONES jack on the station, not the recorder.
- 14 TIMER switch
- 15 ◀◀ (rewind/AMS) button
- 16 ▶▶ (fast forward/AMS) button
- 17 TRACK MARK button
- 18 UNDO button
- 19 INPUT POSITION / (position) buttons
- 20 Cursor buttons
- 21 TITLE/ENTER button
- 22 SELECT button
- 23 CAPS button
- 24 END SEARCH button
- 25 TIME MACHINE REC button
- 26 || (pause) button
- 27 REC switch
- 28 REC LEVEL (ANALOG) control
- 29 INPUT switch
- 30 SYNCHRO REC switch

Back panel of the Station

- 1 OPEN (open the lid) switch
- 2 CHARGE lamp
Lights up while charging the rechargeable battery on the station.
- 3 Rechargeable battery compartment
- 4 ACTIVE SP OUT jack
- 5 DC IN 9V jack
- 6 CLOCK SET button
- 7 DIGITAL OUT (OPTICAL) jack
- 8 DIGITAL IN (OPT1, OPT2) jack
- 9 LINE (ANALOG) OUT jack
- 10 LINE (ANALOG) IN jack

The display window of the station

- 1 Character information display
Displays the disc and track names*, date, error messages, track numbers, etc.
*Disc and track names appear only with MDs that have been electronically labeled.
- 2 MONO (monaural) indication
- 3 Battery indication
Shows battery condition. Lights up when a rechargeable battery is inserted. While charging the rechargeable battery, this indication shows the charging condition.
- 4 Disc indication
Shows that the disc is rotating for recording, playing or editing an MD.
- 5 SYNC (synchronized recording) indication
Lights up while synchro-recording.
- 6 Play mode indication
Shows the play mode of the MD.
REPEAT (all repeat): All tracks play repeatedly.
REPEAT 1 (single repeat): One track plays repeatedly.
REPEAT SHUFFLE (shuffle repeat): Tracks will be repeated in random order.
PROGRAM (program play):
Lights up when programming for program play or executing program play.
- 7 REC (record) indication
Lights up while recording. When flashing, the recorder is in record standby mode.
- 8 Music calendar
Displays the number of tracks recorded in MD, remaining tracks during shuffle play.
- 9 Position pointer
Shows the current location on the MD. The point under recording or playing flashes. The recorded position lights up.
- 10 Peak level meter
Shows the volume of the MD being played or recorded.

The headphones with a remote control

- 1 Headphones
Can be replaced with optional headphones.
- 2 Stereo mini plug
- 3 ■ (stop) button
- 4 Control
To play, turn to ►•►► during stop.
Turn to ►•►► during play to search the beginning of the succeeding track; hold in this position to fast-forward.
Turn to ◀◀ during play to search the beginning of the preceding track; hold in this position to rewind.
- 5 HOLD switch
Slide to lock the controls of the remote control.
- 6 || (pause) button
- 7 PLAY MODE button
- 8 DISPLAY button
- 9 VOL (volume) -/+ buttons
- 10 TRACK MARK button
- 11 Display window

The display window of the remote control

- 1 Character information display
Displays the disc and track names, date, elapsed time, etc.
- 2 Track number indication
Shows the track number of the track being recorded or played.
- 3 Disc indication
Shows that the disc is rotating for recording, playing or editing an MD.
- 4 REC (record) indication
Lights up while recording. When flashing, the recorder is in record standby mode.
- 5 Battery indication
Shows battery condition. While charging the rechargeable battery, this indication shows the charging condition.
- 6 Play mode indication
Shows the play mode of the MD.

Card remote commander

- 1 Number keys
- 2 ► (play) button
- 3 ◀◀ (rewind/AMS) button
- 4 ▶▶ (fast forward/AMS) button
- 5 || (pause) button
- 6 ■ (stop) button
- 7 Transmitter
Direct it toward the receiver on the station.
- 8 POWER switch
- 9 PLAY MODE button
- 10 ACTIVE SP (active speaker) LEVEL +/- buttons
- 11 Battery compartment

Replacing the lithium ion battery

When the battery becomes weak, the working distance of the remote commander becomes shorter. Replace the battery with a new CR2025 lithium ion battery (not supplied).

- ① Insert a pointed object to the slot. Slide and hold it as shown in the illustration and pull out the battery tray.
- ② Insert a CR2025 lithium ion battery (not supplied) with the (+) side facing up.
Insert with correct polarity, or the remote commander will not work.

►MD recording

Setting up the station system

See the illustrations in the Japanese text (pages 10 and 11).

Connect other equipment to the station, then plug in the AC power cord. The explanation here is for recording from a portable CD player through digital input. To connect for other ways of recording, see "Hooking up", (page 75).

- 1 Connect.
 - ① Connect the portable CD player to the MD station.
 - ② Connect the AC power adaptor to the MD station.
- 2 Open the lid.
 - ① Press PUSH OPEN and open the lid.
- 3 Attach the recorder to the station.
 - ① Place the right side of the recorder first.
 - ② Push down the left side until it clicks.
The display will light up on the station if the recorder is attached correctly.

To detach the recorder from the station

Slide RELEASE fully to the right during stop.

Note

- Set the clock to record the recorded date and time (see page 69).
- Play the portable CD player on AC power.
- Make sure that the anti-skip function (such as ESP) is turned off on the portable CD player.

Recording an MD right away!

See the illustrations in the Japanese text (pages 12 and 13).

The explanation here is for recording through digital input. If you want to record through analog input, see "Recording through analog input", (page 69).

If you want to record programs from MIC (PLUG IN POWER) jack of the recorder, see "Recording from a microphone" (page 68).

- 1 Insert a recordable MD.
 - ① Slide the OPEN switch and open the lid.
 - ② Insert a recordable MD with the label side facing up and press the lid down to close.
- 2 Select the input source.
Set INPUT switch to the connected input; OPT1 or OPT2.
- 3 Select the point to start recording.
If you want to record from the end of the previous recording, press END SEARCH. (If you want to start recording from the beginning, skip this step).
- 4 Start recording.
 - ① Press and slide the REC switch to the right.
"REC" lights up and recording starts.
 - ② Play the sound source.

To stop recording, press ■.

Do not move or jog the recorder or disconnect the power source while the "TOC EDIT" indication is flashing in the display.

To	Press
Pause	■ ¹⁾ Press ■ again to resume recording.
Record partway through the previous recording ²⁾	▶, ▶▶ or ◀◀ to find the start point of recording and press ■ to stop. Then slide the REC switch.
Remove the MD	■, then slide the OPEN switch and open the lid. ³⁾
Turn power off	POWER

¹⁾ A track mark is added at the point where you press ■; thus the remainder of the track will be counted as a new track.

²⁾ If you start a new recording partway from a previous recording, the previous recording will be overwritten (erased) by the new one.

³⁾ Once you open the lid, the point to start recording will change to the beginning of the first track. Check the point to start recording on the display.

If the recording does not start

- Make sure the MD is not record-protected. If the tab at the side of the MD is open, slide it back so the tab is visible.
- You cannot record on a premastered MD.

▶ MD playing

Playing an MD right away!

See the illustrations in the Japanese text (pages 14 and 15).

The explanation here is for playing MDs on the recorder when it is detached from the station.

Before playing, make sure the rechargeable battery is fully charged. To charge battery or to run the recorder on other power sources, see "Power Sources", (page 77).

- 1 Insert the rechargeable battery.
- 2 Insert an MD.
 - ① Slide the OPEN switch and open the lid.
 - ② Insert an MD with the label side facing up, and press the lid down to close.
- 3 Start playing.
 - ① Press ▶ (Turn the control to ▶•▶▶ on the remote control). A short beep sounds in the headphones.
 - ② Press the VOL (volume) -/+ buttons to adjust the volume. The volume will be shown in the display.

To stop play, press ■.

A long beep sounds in the headphones.

To	Press (Beeps in the headphones)
Pause	(Continuous short beeps) Press again to resume play.
Find the beginning of the current track	⏮ once (Turn the control to ⏮ on the remote control) (Three short beeps)
Find the beginning of the next track	⏭ once (Turn the control to ⏭ on the remote control) (Two short beeps)
Go backwards while playing ¹⁾	keep pressing ⏮ (Turn and hold the control to ⏮ on the remote control)
Go forward while playing ¹⁾	keep pressing ⏭ (Turn and hold the control to ⏭ on the remote control)
Remove the MD	■, then slide the OPEN switch and open the lid. ²⁾

¹⁾ To go backwards or forward quickly without listening, press || and keep pressing ⏮ or ⏭.

²⁾ Once you open the lid, the point to start play will change to the beginning of the first track.

If the playback does not start

Make sure the recorder is not locked. If it is locked, slide the HOLD switch in the opposite direction of the arrow.

To play with the recorder attached to the station

See "Playing an MD on the station" (page 70).

When using optional headphones

Use only headphones with stereo mini plugs. You cannot use headphones with micro plugs.

► Various ways of recording

To start/stop recording in sync with the source player (Synchro-recording)

See the illustrations in the Japanese text (page 16).

You can easily make digital recordings of a digital source on an MD. Before synchro-recording, make connections to the digital source with a digital cable, and insert a recordable MD.

- 1 Set INPUT switch to "OPT1" or "OPT2".
Set it to match the input jack connected to the source.
- 2 Slide SYNCHRO REC to ON.
"SYNC" appears in the display.
- 3 Press and slide REC to the right.
The recorder stands by for recording.
- 4 Play the source sound. The recorder starts recording when it receives the playing sound.

To stop recording, press ■.

Tips

- You cannot pause manually during synchro-recording.
- When there is no sound from the player for more than 3 seconds during synchro-recording, the recorder goes into the standby mode automatically. When the sound comes from the player again, the recorder resumes synchro-recording. If the recorder is kept in the standby mode for 5 minutes or longer, the recorder stops automatically.

Note

- Do not switch SYNCHRO REC after step 2. Recording may not be done properly.

Starting recording going back 2 seconds (Time Machine recording)

See the illustrations in the Japanese text (page 17).

The recorder stores sound input in its memory during record standby. When you start Time Machine recording, the sound is recalled from the memory and the recorder starts recording the sound from 2 seconds before.

This is convenient, for example, if you do not want to miss the beginning of a track when recording from a BS or a FM program.

- 1 While holding down ■■, press and slide REC to the right.
The recorder stands by for recording.
- 2 Play the sound source.
The recorder will start storing the sound input.
- 3 If you want to record through analog input, adjust the recording level (follow step 6 in "Recording through analog input", page 69).
- 4 Press TIME MACHINE REC to start recording.
The recorder will go back 2 seconds and start recording.

To stop recording, press ■.

Note

If you have taken less than 2 seconds between steps 2 and 3, then the time the recorder will go back will also be less than 2 seconds.

Recording in monaural for double the normal recording time

See the illustrations in the Japanese text (page 18).

Before recording, make connections to the sound source and the power source, and insert a recordable MD. You can operate in the same way on the station as on the recorder.

- 1 While pressing ■■, press and slide the REC switch to the right.
The recorder stands by for recording.
- 2 Press the MODE button. "MONO" or "Monaural REC" appears in the display, and the recorder switches to monaural recording.
- 3 If you want to record through analog input on the station, adjust the recording level (play the source and follow step 6 in "Recording through analog input", page 69).
- 4 Press ■■ again to start recording.
- 5 Play the sound source.

Tips

- The recorder switches back to stereo recording when you press ■ to stop recording.
- If you record a stereo source in monaural, the sounds from left and right will be mixed.
- The MDs recorded in monaural can be played back only with an MD player/recorder that has the monaural playing function.

Recording from a microphone

See the illustration in the Japanese text (page 19).

Connect a microphone to the MIC (PLUG IN POWER) jack. Use a stereo microphone ECM-717, ECM-MS907 or ECM-MS957, etc., (not supplied). The recording level is adjusted automatically, though you can adjust manually as well.

- 1 Select the input level with the MIC SENS (Mic sensitivity) switch.
Usually, set it to HIGH. When you record loud sound such as a live concert, set it to LOW.
- 2 Insert a recordable MD.
Slide the OPEN switch to open the lid, insert a recordable MD, and close the lid.
- 3 Press and slide the REC switch to the right.
"REC" lights up and recording starts.

Note

You cannot record from a microphone when the recorder is attached to the station.

To adjust the recording level manually

- 1 While holding down **||**, press and hold REC to the right for more than 2 seconds.
The recorder stands by for recording.
- 2 Play the source.
- 3 Observe the level meter in the display and adjust the recording level by pressing **▶▶** (+) or **◀◀** (-). Set the level so that the meter shows 4 bars at average input level.
- 4 Press **||** again to start recording.

Tip

The recorder switches back to automatic control when you press **■** to stop recording.

Note

Adjust recording level while the recorder is in standby mode. You cannot adjust it while recording.

Recording through analog input (Analog recording)

See the illustrations in the Japanese text (page 20).

When recording from a radio or a record, connect analogically (page 75) and record as follows. Be sure to adjust recording level manually.

- 1 Insert a recordable MD.
- 2 Set INPUT to ANALOG.
- 3 Select the point to start recording.
If you want to record from the end of the previous recording, press END SEARCH.
- 4 While holding down **||**, press and slide REC to the right.
- 5 Play the source.
- 6 Observe the level meter in the display and adjust the recording level with REC LEVEL. Set the level to around 12 (-12dB) at average input level.
- 7 Press **||** again to start recording.

Note

Note that REC LEVEL is effective even during recording; adjusting it will change recording level.

Setting the clock to stamp the recorded time

See the illustrations in the Japanese text (page 22).

To stamp the date and time on the MD when you record, you need to set the clock. You can set the clock either from the detached recorder, or from the station when the recorder is attached.

- 1 Press CLOCK SET button at the rear of the station with a pointed object. The digits of the year flash.
- 2 Enter the current year by pressing **↑** or **↓**.
To change the digits rapidly, keep pressing **↑** or **↓**.
- 3 Press **→** to enter.
The digit of the month flashes.
- 4 Repeat steps 2 and 3 to enter the current month, date, hour, and minute. After you press TITLE/ENTER to set the minutes, the clock starts operating.

If you made a mistake while setting the clock

Press **■** button and repeat the steps above. Press **→** to locate necessary digits to be changed.

To set the clock on the recorder

The procedure is the same as in setting the clock on the station. Press CLOCK SET at the bottom of the recorder so that the digit of the year flashes. Change the number with **◀◀** or **▶▶**, and enter with **▶**. When you press **▶** to enter the minute, the clock starts operating. If you attach the recorder to the station after you have set the clock on the recorder, the clock on the station will be synchronized automatically.

To display the time in the 24-hour system

Press the DISPLAY button while setting the clock. To change the clock to the 12-hour system, press DISPLAY again.

Charging the built-in battery for the clock

When you are using the recorder for the first time or after a long period of disuse, charge the built-in battery for the clock.

After setting the clock, leave the recorder attached to the station for about 2 hours to charge the built-in battery. Once charged, the built-in battery will last for about a month without being connected to any of the power sources. The recorder will automatically charge the built-in battery while operating on the station, a rechargeable battery or dry batteries.

► Various ways of playback

Playing an MD on the station

See the illustrations in the Japanese text (page 24).

To	Operation
Play	Press ►
Adjust the volume of the headphones connected to the station	Turn LEVEL on the station
Pause	Press Press again to resume play.
Find the beginning of the current track	Press ◀◀ once
Find the beginning of the next track	Press ▶▶ once
Go backwards while playing ¹⁾	Keep pressing ◀◀
Go forward while playing ¹⁾	Keep pressing ▶▶

To	Operation
Remove the MD	Press ■ and open the lid. ²⁾
Turn power off	Press POWER

¹⁾ To go backwards or forward quickly without listening, press || and keep pressing ◀◀ or ▶▶.

²⁾ Once you open the lid, the point to start play will change to the beginning of the first track.

Note

The power turns off automatically when you leave the station for 5 minutes in the stop mode. Press POWER or ► to turn the power on again.

Playing back with active speakers

You can enjoy MD playback on active speakers such as SRS-Z1000 (not supplied) by connecting it to the station (page 76).

Operate with the buttons on the station or from the card remote commander.

To adjust volume

Press ACTIVE SP LEVEL -/+ on the station or the card remote commander.

Choosing a track from the commander (Direct Selection)

See the illustration in the Japanese text, (page 24).

You can select a track directly by pressing the track number on the card remote commander.

- 1 Press the track number of the track of your choice.
The recorder will play the selected track.

Tips

- To select track number 10, press 0/10.
- To select a track number larger than 10, first press >10, then press the number for the tens digit and then the units digit. Press 0/10 if the units digit is zero.
- To select a track number larger than 100, first press >10 twice, then press the number for the hundreds digit, tens digit, and the units digit.

Playing selected tracks in the order of your choice (Program Play)

See the illustrations in the Japanese text, (page 25).

Select up to 20 tracks and play them in the order of your choice.

- 1 Press PLAY MODE repeatedly until "PROGRAM" lights up in the display.
- 2 Press the number key for the track number of your choice in the order to be played.
The tracks are programmed in sequence. You can program up to 20 tracks.
To cancel a track, press ERASE/DELETE on the station.
- 3 Press ►.
The recorder will play the tracks in the programmed order.

To display the track order

Press SELECT on the station before playing back. With each press, the track number will be displayed in the order programmed.

To change the program

Press ERASE/DELETE on the station before playback to cancel the last track, or press ■ to cancel all tracks. Then, repeat from step 2.

To program from the station

- 1 Press MODE repeatedly until "PROGRAM" lights up in the display.
- 2 Select the track number of your choice with the cursor buttons and press SELECT.
- 3 Repeat step 2 and select tracks in the order to be played.
- 4 Press ►.

Note

The program will be erased if you press ■, remove the disc, detach the recorder from the station, record, or edit.

Playing tracks repeatedly

See the illustrations in the Japanese text (page 26).

Press MODE (PLAY MODE on the remote control) repeatedly during playback until the play mode indication of your choice appears in the display.

Recorder/ Remote control	Station	Play mode
"⏮"	REPEAT	All the tracks are played repeatedly. (all repeat)
"⏮ 1"	REPEAT 1	A single track is played repeatedly. (single repeat)
"⏮ SHUF"	REPEAT SHUFFLE	All the tracks are played repeatedly in random order. (shuffle repeat)

► **Editing recorded tracks**

You can edit your recordings. Premastered MDs cannot be edited.

Notes

- When you press ■ after erasing track marks, "TOC EDIT" flashes for about a second. Do not move or jog the recorder or disconnect the power source while the indication is flashing.
- You cannot erase track marks on an MD with the tab open for protection. Before erasing track marks, close the tab at the side of the MD.

Erasing a track (ERASE)

See the illustration in the Japanese text (page 29).

You can erase a recorded track. Make sure of the track you are erasing.

- 1 Play the track you want to erase.
- 2 Press the ERASE/DELETE button while playing the track. "Erase OK?" and "Push Enter" appear in the display, and the recorder plays the selected track repeatedly. Check the track number in the display. To cancel erasing, press ■.
- 3 Press the TITLE/ENTER button again to erase the track. The track is erased from the MD and the remaining tracks are renumbered. The recorder starts to play the succeeding track.

To erase a part of a track

Add track marks at the beginning and the end of the part you want to erase, then erase the part.

Erasing a whole disc

See the illustration in the Japanese text (page 29).

You can erase all the tracks on a disc at a time. Be sure to check the contents of the disc you want to erase.

- 1 Press ■ to stop.
- 2 While pressing the ERASE/DELETE button, slide the REC switch to the right. "All Erase OK?" and "Push Enter" appear in the display. Make sure it is the right disc to be erased. To cancel erasing, press ■.
- 3 Press the TITLE/ENTER button. "TOC EDIT" flashes in the display. When erasing is complete, "BLANK DISC" appears.

Insert a track mark (TRACK MARK ON)

See the illustrations in the Japanese text (page 30).

You can insert a track mark into a track.

- 1 While playing or pausing an MD, press TRACK MARK on the station at the point you want to add a mark. "Rehearsal" will light up and "Track Mark ON OK?" and "Push Enter" will appear. A four second segment will be played repeatedly. Press the cursor buttons to adjust the point to be mark. It can be moved forward or backwards up to eight seconds, in 0.06 second steps. To cancel erasing, press ■.
- 2 Press TITLE/ENTER. "Track Mark ON" will be displayed. A track mark is added and the portion after the mark will be counted as a new track.

To insert a track mark on the recorder

Press T MARK during playback or pause at the point you want to add a mark. The track mark will be added where you pressed the button.

You can insert the track number while recording.

Press TRACK MARK button while recording.

Erasing a track mark (TRACK MARK OFF)

See the illustrations in the Japanese text (page 31).

When you record with analog (line) input, unnecessary track marks may be recorded where the recording level is low. You can erase a track mark to combine the tracks before and after the track mark.

- 1 While playing the track with the track mark you want to erase, press ■ to pause.
- 2 Find the track mark you want to erase by pressing ◀◀ slightly. "00:00" flashes in the display.
- 3 Press the TRACK MARK button. "Rehearsal" will light up and "Track Mark OFF OK?" and "Push Enter" will appear. A four second segment will be played repeatedly. To cancel erasing, press ■.
- 4 Press TITLE/ENTER. "Track Mark OFF" will be displayed. The track mark is erased and the two tracks are combined. The number of the newly combined track will be that of the first track. The succeeding tracks will be renumbered.

To erase a track mark on the recorder

Press ◀◀ or ▶▶ slightly during pause to find the track mark you want to erase and press T MARK.

Moving recorded tracks (MOVE)

See the illustration in the Japanese text (page 32).

You can change the order of the recorded tracks.

- 1 While playing or pausing the track you want move, press MOVE/INSERT. For the example above, "Move No.003 → No.003" and "OK? Push Enter" appear on the display.
- 2 Press the cursor buttons to select the new track position.
 - ← or ↓ moves the track number down.
 - ↑ or → moves the track number up. To cancel moving, press ■.
- 3 Press TITLE/ENTER. The track moves to the position before the designated track.

Labeling recordings (TITLE)

See the illustration in the Japanese text (page 32).

You can label the MDs and tracks you recorded with letters, numbers, and marks. Each label can be made up of up to 200 characters, and each MD can include up to about 1700 characters.

- 1 To label a track, play the track you want to label. To label an MD, insert the recordable MD you want to label. If an MD is already inserted, press ■ to stop.
- 2 Press the TITLE/ENTER button on the recorder. A set of characters appears on the display. To select a different set of characters, press the CAPS button to change the display. Each time you press this button the display changes in the order of katakana characters, English letters, symbols and numbers, and title samples.

- Press the cursor buttons to select a character.
The cursor buttons move the cursor up/down or right/left.
The INPUT POSITION button moves the cursor right or left.
Press the SELECT button to finalize your selection.
Press the MOVE/INSERT button for a space.
Press the ERASE/DELETE button to delete a character.
Press ■ to stop labeling.
* When you use Katakana, press ↑/↓ to change the display as follows:
「ア」 ↔ 「カ」 ↔ 「サ」 ↔ 「タ」
- Repeat step 3 until you have entered all the characters for the label.
- Press the TITLE/ENTER button to finish labeling.

To cancel labeling

Press ■.

To use the title samples

There are 42 samples available for the disc name or message.

Press ←/→ to change the pages.

Press ↑/↓ to move the cursor (>) up or down.

Press the SELECT to enter the title samples.

Cancelling the last editing operation (UNDO)

See the illustration in the Japanese text (page 34).

You can undo the last performed editing operation and return to the previous status. However, you cannot undo an editing operation if you have done any of the following afterwards:

- slide the REC switch
- turn off the power or remove the MD
- remove the recorder from the station
- leave both the recorder and the station unoperated for more than 5 minutes
- remove the AC power adaptor from the wall outlet

- Press UNDO during stop.
The following messages will appear according to the last performed editing operation.

Editing operation	Message
Erase a track	"Erase Undo OK?"
Erase all tracks	"All Erase Undo OK?"
Insert a track mark	"Track Mark ON Undo OK?"
Erase a track mark	"Track Mark OFF Undo OK?"
Move a track	"Move Undo OK?"
Name a disc	"Disc Name Undo OK?"
Name a track	"Track Name Undo OK?"

- Press TITLE/ENTER.
"TOC EDIT" will appear for a few seconds and the MD will return to the previous status.

To cancel UNDO

Press ■.

Note

Once you have undone an editing operation, you cannot undo this undoing process itself to restore the original editing operation.

► Other useful functions

Recording/playing with a timer

See the illustration in the Japanese text (page 35).

You can start recording or playback at a preset time using an audio-timer (optional).

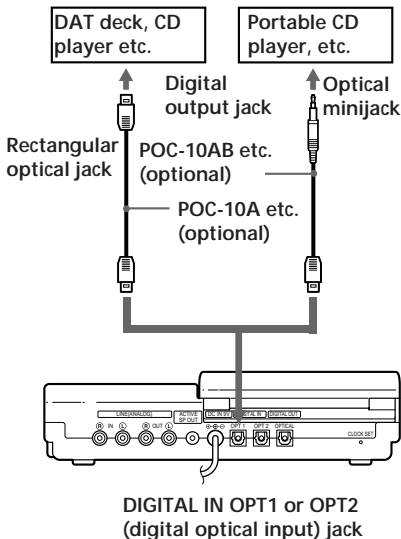
- 1 Plug in the AC power adaptor of the station to the audio-timer (optional).
- 2 Adjust recording level manually and press **■** if recording through analog input (steps 4 to 6 of "Recording through analog input", page 69).
- 3 Set TIMER to "REC" or "PLAY".
To start recording at the preset time: select "REC"
Recording will start automatically after the part that is already recorded in the MD.
To start playback at the preset time: select "PLAY"
- 4 Set the time on the audio-timer and turn the power off.
The power of the audio-timer will turn on automatically at the preset time, which will then turn on the station.

Notes

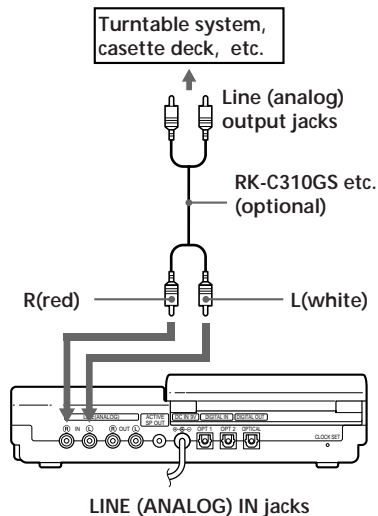
- To record monaurally using an audio-timer, press MODE for 2 seconds or more after step 3. The timer recording preferences will be displayed. If the recording mode is in "Stereo", press MODE so that it changes to "Monaural".
- If you are using the station for the first time or using the station after a long period of disuse, be sure to charge the built-in backup battery of the station. The recorder uses this backup battery when it writes TOC information after the timed recording is complete and the power is turned off. To charge the built-in battery, connect the AC power adaptor to the station. Full charging takes about 10 hours. The battery will last for about a week; do not set the timer to start recording in more than a week.

► Hooking up

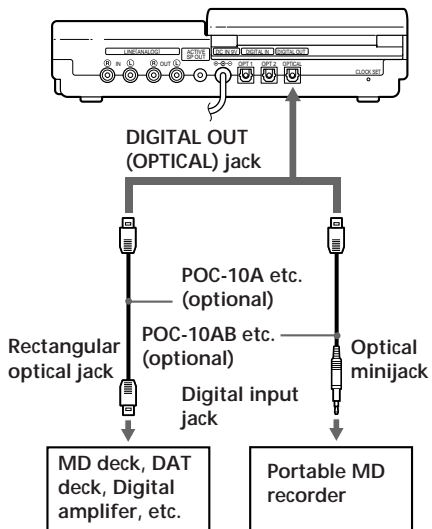
Setup for digital recording on the station



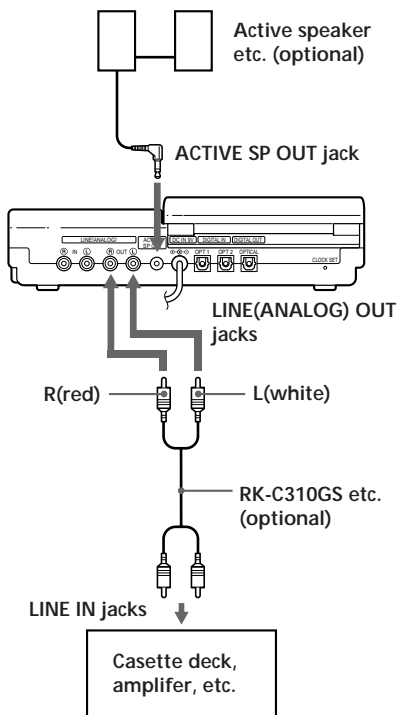
Setup for analog recording on the station



Setup for digital output from the station



Setup for analog output from the station



► Power sources

Using the Station on house current

See the illustration in the Japanese text (page 39).

Connect the supplied AC power adaptor to the DC IN 9V jack on the station and to the wall outlet.

Using the recorder on a lithium ion rechargeable battery

See the illustrations in the Japanese text (page 39).

You can charge the LIP-8 lithium ion rechargeable battery (supplied) on the recorder.

- 1 Connect the station to an electrical outlet.
- 2 Insert the LIP-8 to the recorder and close the lid.
- 3 Attach the recorder to the station. The battery will charge whether the power is on or off. Full charging take about 3 hours.

To charge the battery with the recorder detached

- 1 Slide the OPEN switch at the side of the station to open the lid.
- 2 Insert the battery and close the lid. When charging is completed, the CHARGE lamp goes out.

Using the recorder on dry batteries/nickel metal hydride rechargeable battery

See the illustrations in the Japanese text (page 41).

Before using a nickel metal hydride rechargeable battery, you must charge it.

- 1 Attach the supplied battery case.
- 2 Insert two LR6 (size AA) dry batteries or a nickel metal hydride rechargeable battery.


Note

You cannot charge the nickel metal hydride rechargeable battery on this recorder. Use only the recommended battery charger (not supplied).

Battery life

Batteries	Recording	Playback
LIP-8 lithium ion rechargeable battery	Approx. 3.5 hours	Approx. 5.5 hours
R6(size AA) Sony alkaline dry batteries LR6(SG) x 2	Approx. 4.5 hours	Approx. 9 hours
BP-DM20 nickel metal hydride rechargeable battery	Approx. 4.5 hours	Approx. 6.5 hours
LIP-8 +LR6(SG) x 2	Approx. 8 hours	Approx. 16 hours
LIP-8 +BP-DM20	Approx. 8 hours	Approx. 13 hours

When to replace the batteries

When the dry batteries or rechargeable battery are weak,  flashes in the display of the recorder and "LoBATT" appears in the display of the remote control. Replace the dry batteries or charge the rechargeable battery.

▶ **Additional information**

Error messages

If the recorder cannot carry out an operation, error messages may flash in the display window as follows. The words in parentheses are the messages that appear on the display window of the headphone's remote control.

BLANK DISC (BLANK):

You tried to play or edit an MD with no recording on it.

CONNECTION ERROR (-):

The recorder is not attached to the station correctly.

DISC ERROR (ERROR):

The recorder cannot read the MD (it is scratched or dirty). Reinsert the MD. If the same message still appears, replace the MD.

DISC FULL (FULL):

There is no more space on the MD (less than 12 seconds available).

EDIT BUSY (BUSY):

You tried to operate the recorder while it was accessing the recorded data. Wait until the message goes out (in rare cases, it may take 2-3 minutes).

- (LoBATT):

The rechargeable battery or dry batteries are weak. Charge the rechargeable battery or replace the dry batteries.

MEMORY OVER (MEMORY):

You tried to record when there is no indication in the display, with the recorder placed where it receives continuous vibration. Put the recorder on a stable place, and start recording again.

NAME FULL (-)

You tried to enter more than 200 characters for a track or disc name, or the total characters entered in the MD exceeded the limit (about 1700). Enter the characters within the limit.

NO DIGITAL SIGNAL (-):

The recorder could not detect digital input signals. Make sure that the source is connected firmly.

NO DISC (NoDISC):

You tried to play or record with no disc in the recorder.

P/B ONLY (PbONLY):

You tried to record or edit on a premastered MD (P/B means playback).

PROTECTED DISC (SAVED):

You tried to record or edit on an MD with its tab in the record-protect position.

PROTECTED TRACK (TrPROT):

You tried to record over or edit a track which has been protected from being recorded over. ¹⁾

SCMS NO COPY (-):

You tried to make a copy from a disc that is protected by the Serial Copy Management System. You cannot make copies from a digitally connected source which was itself recorded using a digital connection. Use the analog connection instead.

SORRY (SORRY):

You tried to erase a track mark while playing the MD or at the beginning of the first track.

You tried to erase a track mark to combine tracks the recorder cannot combine. ²⁾

TEMPERATURE OVER (TEMP):

Heat has built up in the recorder. Wait until the recorder cools down.

TRACK FULL (TrFULL):

There is no more space for new data on the MD you are editing. Erase unnecessary tracks.

¹⁾ Track-protected MiniDiscs — Some MD recorders will let you protect individual tracks from being recorded over. This recorder, however, does not offer this feature.

²⁾ If you have recorded or erased many times on the same MD, the data of a single track may be scattered throughout the MD. When the data is scattered in groups of less than 12 seconds long, the recorder will not be able to combine the tracks.

ソニー株式会社 〒141-0001 東京都品川区北品川6-7-35

お問い合わせはお客様ご相談センターへ

東京(03)5448-3311 名古屋(052)232-2611 大阪(06)539-5111